

# 地域活性化事業 事例集

(第2期:平成 29 年度～令和 2 年度)



幸せ上々、みやこのじょう

日本一の肉と焼酎、とっておきの自然と伝統

令和 4 年 11 月  
地域振興部地域振興課

## 事例集の作成にあたって

地域活性化事業は、急激な人口減少や高齢化の急速な進行など中山間地域等を取り巻く環境は厳しさを増している。このような傾向の著しい地域が抱える課題を解決し、地域の振興が図られることを目的に平成 25 年度からスタートした事業です。

第 1 期は、平成 25 年度から 28 年度までの 4 年間で、各総合支所に各 4 千万円を交付し、志和池地区、庄内地区、西岳地区、中郷地区に各 1 千万円を交付しました。

第 2 期は、平成 29 年度から令和 2 年度までの 4 年間で、市内全 15 地区を対象にそれぞれ 1 千万円を交付しました。

第 3 期は、令和 3 年度から令和 6 年度までの 4 年間で、第 2 期と同様に市内全 15 地区にそれぞれ 1 千万円を交付し、それぞれの地区で活用いただいているところです。

このたび、各地区において第 2 期に実施した地域活性化事業の取組事例をまとめました。

各地区におかれましては、本事例集を活用し、今後の地域活性化事業立案の参考にしていただければ幸いです。

## 目次

### 暮らし・安全

通学路安全推進事業.....	1
子どもの見守り活動充実事業.....	2
祝吉地区安全安心なまちづくり事業.....	3
祝吉地区安全安心なまちづくり事業.....	4
子どもの見守り活動充実事業.....	5
地域安全パトロール隊の充実を図る事業.....	6
防災対策環境整備事業.....	7
志和池地区交通安全活動推進事業.....	8
安心安全なまちづくり推進事業.....	9
有害鳥獣対策事業.....	10
見守り隊ベスト作成事業.....	11
防災対策環境整備事業.....	12
道路環境整備事業.....	13
交通安全啓発支援事業.....	14
防犯対策事業.....	15
有水地区防災道徳教育事業.....	16
高城地区見守り隊支援事業.....	17
自主防災隊資機材整備事業.....	18

### 健康づくり

健康づくり世代間交流事業.....	19
姫城地区健康増進事業.....	20
こけない体操支援事業.....	21
健康増進事業.....	22
いきいき健康増進事業①.....	23
いきいき健康増進事業②.....	24
祝吉地区スポーツ振興事業.....	25
祝吉地区スポーツ振興事業.....	26
五十市の健康づくり支援事業.....	27
要介護化を予防する事業.....	28
健康づくり環境整備事業.....	29
健康増進スポーツ推進事業.....	30
西岳地区いきいき健康づくり事業.....	31
健康増進事業.....	32
健康管理支援事業.....	33
健康増進事業.....	34
こけない体づくり講座推進支援事業.....	35
ニュースポーツ推進事業.....	36
山田地区健康増進事業.....	37
健康スポーツ推進事業.....	38
健康スポーツ推進事業.....	39

## 地域イベント

移動式舞台及びパネル購入事業.....	40
ふれあいまつり活性化事業①.....	41
ふれあいまつり活性化事業②.....	42
早水あやめまつり活性化事業.....	43
祝吉地区まちづくり協議会活動充実事業.....	44
イルミ&アートフェスタ開催事業.....	45
五十市地区文化祭等充実事業.....	46
横市地区まつりを活性化する事業.....	47
地域文化活性化事業.....	48
地域スポーツイベント支援事業.....	49
イベント環境整備事業.....	50
まつりパワーアップ支援事業.....	51
盆踊りやぐら整備事業.....	52
屋外放送機器整備事業.....	53
西岳地区ふれあい文化祭事業.....	54
イベント周知事業.....	55
イベント環境整備事業.....	56
イベント支援事業.....	57
都城さくらマラソンおもてなし事業.....	58
山田地区体育祭開催事業.....	59
婚活レクリエーション事業.....	60
高崎地区縁結び促進事業.....	61
タイムカプセル開封記念事業.....	62
芸術文化環境整備事業.....	63
イベント環境整備事業.....	64
高崎地区イベント看板等整備事業.....	65
PR看板及び街灯フラッグ作製事業.....	66

## 地域福祉・子育て

子ども会育成連絡協議会振興事業.....	67
スマイルカフェ祝吉賑わいづくり事業.....	68
スマイルカフェ祝吉賑わいづくり事業.....	69
スマイルカフェ祝吉事業.....	70
読み聞かせ本整備事業.....	71
多世代交流事業.....	72
ダンボールアートチャレンジ事業.....	73
平和講演会事業.....	74
ふれあい交流事業・地域支援事業.....	75

## 自然

夜の昆虫採集カブトムシ相撲大会事業.....	76
祝吉ホテルの里活性化事業.....	77
蓮池（はすいけ）周辺整備事業.....	78
ガイドマップ作成事業.....	79
あじさい公園等城展示パネル製作事業.....	80
観音瀬PR事業.....	81
高城地区まちづくり委員会地域活性化活動推進事業.....	82
自然遺産掲示板設置事業.....	83
ほたるの里拡大事業.....	84

## 歴史

姫城地区史跡等写真集作成事業.....	85
都城島津灯ろう祭り賑わい創出事業.....	86
姫城地区地域資源活用事業.....	87
ふるさと再発見事業.....	88
祝吉地区歴史探訪マップ活用事業.....	89
祝吉地区歴史探訪マップ活用事業.....	90
祝吉地区歴史探訪マップ活用事業.....	91
地域の歴史を伝承する事業.....	92
「志和池の宝」ポスター作成事業.....	93
郷土誌「庄内」書籍電子化事業.....	94
中郷地区の歴史DVD作成事業.....	95
六ヶ村城跡周辺整備事業.....	96
梅の植栽整備事業.....	97
総合案内板整備事業.....	98
記念碑設置事業.....	99
史跡ネットワーク化事業.....	100
「石川理紀之助」交流事業.....	101
ふるさと探訪マップ発行事業.....	102
「たかざきマップ」リニューアル事業.....	103
たかざき施設案内パネル設置事業.....	104

## 郷土芸能

今町俵おどり伝承事業.....	105
「安久節」モニュメント設置事業.....	106
山之口弥五郎どん祭り保存伝承事業.....	107
郷土芸能デジタル化事業.....	108
麓文弥節人形浄瑠璃PR事業.....	109
民俗文化財デジタル化事業.....	110
花木あげ馬保存伝承事業.....	111
民俗工芸品開発事業.....	112
民俗文化財PRビデオ制作事業.....	113
郷土芸能・史跡デジタル化事業.....	114
下富吉郷土芸能保存伝承事業.....	115
高崎民俗芸能保存活性化事業.....	116

## 地域活動の充実

まちづくり協議会 PR 施策事業.....	117
シンボルマーク等普及促進事業.....	118
祝吉地区まちづくり協議会活動充実事業.....	119
自治公民館魅力向上事業.....	120
新まちづくり計画策定事業.....	121
横市地区まちづくり協議会活動充実事業.....	122
自治公民館活動充実事業.....	123
生きがいつくり事業.....	124
まちづくり環境整備事業.....	125
ロゴマーク作成事業.....	126
環境整備事業.....	127
ハッピー作製事業.....	128
西岳米を活用したまちづくり事業.....	129
郷土愛育成事業.....	130
未来へつなぐ山之口の情報発信事業.....	131
高城地区まち協ホームページ開設事業.....	132
まちづくり協議会活動充実事業.....	133
山田地区広報誌発行事業.....	134
町興し活動充実事業.....	135
まちづくり協議会活動充実事業.....	136
ホームページ開設事業.....	137
自治公民館連携強化事業.....	138
自治公民館連携地域対策事業.....	139

## 参考資料

地区別年度別事業一覧.....	140
-----------------	-----



## 通学路安全推進事業



取組地区：姫城地区

取組年度：平成 30 年度

事業主体：姫城地区まちづくり協議会

事業費：1,431,100 円（基金活用額：1,380,000 円）

問合わせ：46-2603

### 課題・取組みの概要

- 地域の宝である子ども達の登下校時の「安全・安心」を守る必要がある。
- ボランティアによる見守り隊（安全指導）は、決まった時間帯に活動されるが、子どもやドライバーの目に届く看板を設置することで、安全への意識付けができることから、電柱看板の設置に取り組んだ。

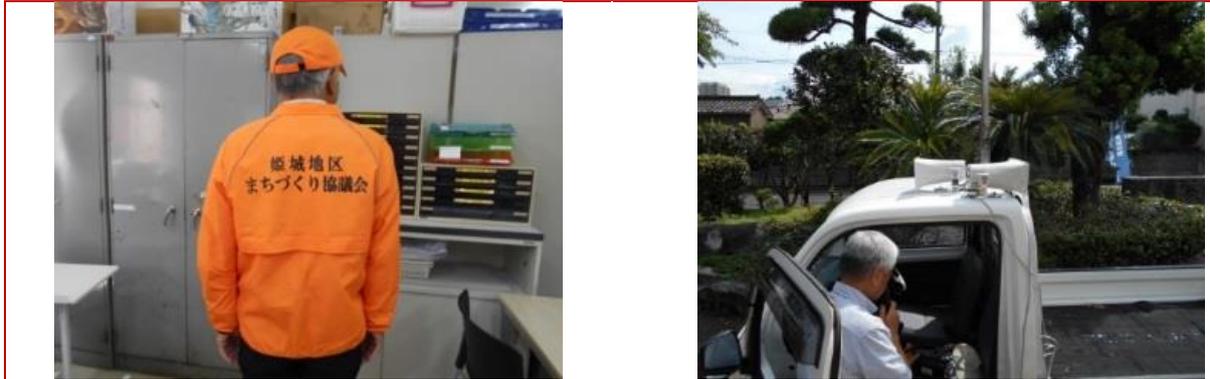
### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 「通学路注意」は、通行車両に注意喚起を促し、また「知らない人について行かない!!」は、下校する児童生徒の目に付くように設置したことで、通学路の安全・安心を守る環境づくりの一つとなっている。
- 姫城地区内の3校（姫城中、明道小、南小）周辺の九電とNTTの電柱20本に設置した。
- 交通量が多い場所や交差点の周辺を中心に設置した。

### 今後の課題・アドバイス等

- 電柱広告料を5年間契約としたことから、6年目以降の広告料が年間26万円（13,000円/本）程度が必要となるため、まち協での財源の確保が必要となる。

## 子どもの見守り活動充実事業



取組地区：姫城地区  
 取組年度：令和2年度  
 事業主体：姫城地区まちづくり協議会  
 事業費：829,950円（基金活用額：829,000円）  
 問い合わせ：46-2603

### 課題・取組みの概要

- 地区内小中学校3校では、登下校時、PTAやボランティア等による学校ごとの見守り活動を実施しているが、これを「地域全体での取組としていきたい」との意見があった。
- 統一したジャンパーや帽子を着用することで、地区住民や通行車両に活動を知らしめた。
- 車載用拡声器を使った安全パトロールを実施した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 児童・生徒の見守り活動を地域の活動として、各学校間の連携強化が図られた。
- スピーカーを使った巡回により、見守り隊の活動充実が図られた。

### 今後の課題・アドバイス等

- 更新のタイミングと財源。
- メンバーの体格を把握できず、サイズの合わない人がいた。
- 役員等の交代時に、「前任者の着用したジャンパーを後任者が引き継いで着用することには抵抗がある」との意見があった。
- 日常の維持管理費の財源（洗濯・クリーニング代等）

## 祝吉地区安全安心なまちづくり事業



取組地区：祝吉地区  
 取組年度：平成 30 年度  
 事業主体：祝吉地区まちづくり協議会  
 事業費：259,200 円（基金活用額：259,200 円）  
 問合わせ：23-2890（祝吉地区公民館）

### 課題・取組みの概要

- 祝吉地区は、10 号線、269 号線の 2 本の国道が横断し交通量が多く登下校時の事故等の発生が懸念されていた。
- 各小中学校の児童生徒の登下校時に地域住民が見守り活動を実施する。
- 見守り活動を実施するため、「子ども見守り隊」タスキを 400 本作製した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 通学路周辺に居住する住民に見守り活動への協力を依頼。自宅周辺での見守り活動の協力が得られた。
- 登下校時に地域の高齢者等が、見守り活動を行うことで児童生徒との交流が生まれた。

### 今後の課題・アドバイス等

- 更新方針：学校との連携を密にし、開校日・閉校日を確実に把握する必要がある。
- 見守り活動に参加可能な住民を把握する。

## 祝吉地区安全安心なまちづくり事業



取組地区：祝吉地区  
 取組年度：令和2年度  
 事業主体：祝吉地区まちづくり協議会  
 事業費：4,974,000円（基金活用額：4,974,000円）  
 問合わせ：23-2890（祝吉地区公民館）

### 課題・取組みの概要

- 祝吉地区は、公園や史跡等が多く点在しており市民の憩いの場となっている反面、声掛け事案や不審者情報などが寄せられることもある。また、国道10号線、269号線が地区内を横断しているため事故等の発生も懸念されている。
- 地区内の通学路など主要箇所11か所に防犯カメラ（見守りカメラ）を設置した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 防犯カメラを通学路などに設置することにより抑止効果と事件や事故が発生した場合の早期解決につながることを期待される。
- 市道の場合は、道路公園課へ使用申請、民有地の場合は、まち協会員が土地所有者へ説明に出向き無償利用について承諾を得た。
- 都城警察署と映像提供に関する協定書を締結した。

### 今後の課題・アドバイス等

- 更新方針：設置後3年間は、設置業者がメンテナンスを行う。その後の維持管理費は、まち協予算で対応予定である。
- 機器の耐用年数：防犯カメラ6年・レコーダー3年
- 運用に係る経費（電気代、修繕費など）や更新に係る経費を予算化する必要がある。
- 設置場所について、公有地・民有地とも使用申請や借用協定書など文書による管理が必要である。
- 「映像データ提供に関する基準」を作成し都城市総務課へ提出が必要である。

## 子どもの見守り活動充実事業



取組地区：五十市地区  
 取組年度：令和2年度  
 事業主体：五十市地区まちづくり協議会  
 事業費：840,045円（基金活用額：792,000円）  
 問い合わせ：23-2184

### 課題・取組みの概要

- 青少年の安全確保や健全育成に地域全体で推進するため、ベストと帽子を整備した。
- これまでの見守り活動は任意の活動に偏っていたことから、対策を講じる必要があった。
- 導入を機に、より充実した活動に発展させようと、まずは公民館長と民生委員児童委員が率先垂範し、高齢者クラブ等にも呼び掛けて取り組み始めた。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 見守り活動充実のため、学習会や調査を通して先進的な取り組みを学んだ。
- 見守り活動の実施に当たっては、ベストと帽子以外にも、横断旗（指導旗）が必要との要望があり、急遽、準備し配布した。
- 学校との協議により危険箇所や見守り場所の明示等を行う一方、散歩がてらの見守りや自宅前での見守り等、それぞれの団体や個々人の主体性を尊重し取り組むこととした。

### 今後の課題・アドバイス等

- 意識の高揚を図り活動の輪を広げるため、館長会等で相互の状況報告等を行っている。
- 学校とも連携し、活動者による校区毎或いは地区内での情報交換の機会を設けたい。
- 雨具や夏用ベスト、車の表示シート等、必要なアイテムを逐次充実させる必要がある。
- 維持管理や更新に係る費用が必要となる。

## 地域安全パトロール隊の充実を図る事業



取組地区：横市地区  
 取組年度：令和元年度  
 事業主体：横市地区自治公民館連絡協議会  
 事業費：1,212,000円（基金活用額：1,212,000円）  
 問い合わせ：25-2257

### 課題・取組みの概要

- 平成28年度に、旧称「子ども安全パトロール隊」を、子どもだけでなく高齢者等も対象とするため「地域安全パトロール隊」に改称したものの、腕章・帽子等が旧称のままになっていた。
- 腕章や帽子、マグネットステッカー、ベスト、手旗、雨合羽、交通整理灯の用具を購入した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 用具は、西小・明和小校区の安全パトロール隊が登校時の見守りで活用し、活動の充実と安全の確保に大変役立っている。

### 今後の課題・アドバイス等

- 今後は、小学校のボランティア活動や地域安全活動等でも、用具の有効活用を図る。
- 用具の補充は、まちづくり協議会が随時行うことで、地域の安全安心を担保する。

# 防災対策環境整備事業



取組地区：沖水地区

取組年度：令和2年度

事業主体：“住みよいまち沖水”協議会

事業費：264,000円（基金活用額：264,000円）

問い合わせ：38-1033

## 課題・取組みの概要

- 各自治公民館に常備している防災用ヘルメットが老朽化して、耐用年数を経過していた。
- 防災用ヘルメットを120個購入し、各自治公民館に10個ずつ配備した。

## 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 防災に対する意識が向上した。
- ヘルメットは各自治公民館で管理し、災害の際に使用する。

## 今後の課題・アドバイス等

- 耐用年数を考慮し、適切な時期に更新できるよう財源を検討していく必要がある。
- 記録的な災害が増えていることに加え、介助が必要な高齢者も多くなることが予想される。救助活動に従事できる人の確保も必要であり、ヘルメットの追加も発生する。

## 志和池地区交通安全活動推進事業



取組地区：志和池地区  
 取組年度：平成 30 年度  
 事業主体：志和池地区交通安全協議会  
 事業費：540,216 円（基金活用額：540,216 円）  
 問合わせ：36-0519

### 課題・取組みの概要

- 子どもから高齢者までが、安全・安心に生活できる環境を作るためには、交通安全活動及び啓発活動の従事者の安全確保を図る必要がある。
- 交通安全活動中に、車両から一目で確認できるような目立つベストを 200 着作成。交通安全協会や小中学校、自治公民館長、民生委員・地区関係者へ配布した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- ベスト着用により、交通安全活動中であることが遠くから視認できるため、車両運転手や歩行者へ交通安全の啓発ができ、活動従事者の安全が確保されている。
- ベストは、その都度貸出（一括管理）ではなく個人が管理している。

### 今後の課題・アドバイス等

- 消耗品であるため、状況によっては更新若しくは補充の必要があり、財源を検討していく必要がある。
- 交通安全活動の実施者にとっては必需品である。

## 安心安全なまちづくり推進事業



取組地区：志和池地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：志和池地区まちづくり協議会  
事業費：111,085 円（基金活用額：111,085 円）  
問合わせ：36-0519

### 課題・取組みの概要

- 民生委員児童委員の活動について、地域住民に安心感を与えると同時に、相談しやすい環境を整える必要があった。
- 個人宅訪問や街頭活動において、不審者と間違われずに民生委員児童委員と一目で確認できるベストを着用する。
- 前後にロゴマーク入りのベストを予備も含めて 23 着作成し、民生委員児童委員に貸与した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- ベストを着用することにより、民生委員児童委員であることが一目で判別でき、活動者自身も見守り対象者も安心して対応できる。
- ベストは、民生委員児童委員が各自で管理。改選後は、後任に引き継いでいる。

### 今後の課題・アドバイス等

- 消耗品であるため、定期的な更新や補充が必要となり、財源を検討していく必要がある。
- ベストは、安全・安心な地域活動を行うための必需品と考えている。

## 有害鳥獣対策事業

囲い罠イノシシ捕獲写真



猟友会によるくくり罠講習会



取組地区：庄内地区

取組年度：平成30年度～令和2年度

事業主体：庄内地区まちづくり協議会

事業費：1,126,502円（基金活用額：1,122,180円）

問い合わせ：37-3488

### 課題・取組みの概要

- 地区内にイノシシが生息し、田畑に被害を与え、通学路へも出没するようになった。そこで、住民有志による捕獲班を自治公民館ごとに結成。罠猟資格を取得させるとともに、罠猟の指導や殺処分など猟友会と連携して捕獲に取り組んだ。
- 捕獲に必要な囲い罠及びくくり罠を購入し、捕獲班へ貸与している。初年度は、猟友会に依頼し講習会を3回開催した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 罠猟についてノウハウが蓄積され、地区で捕獲できる体制が構築できた。
- 猟友会捕獲班に加入することにより、年間を通して有害鳥獣駆除ができる。
- 3年間の捕獲状況：イノシシ（23頭）、シカ（2頭）
- 罠設置による事故等に備えて、毎年、同事業にて賠償責任保険に加入

### 今後の課題・アドバイス等

- 限定的だった出没地域が住宅地へも拡大してきているため、地域で罠免許取得者を増やしていくことが必要。
- 利用頻度が増すに伴い、罠の補修や個数を増やす必要がある。

## 見守り隊ベスト作成事業

パトロールベスト及び帽子



取組地区：庄内地区  
 取組年度：令和元年度  
 事業主体：庄内地区まちづくり協議会  
 事業費：293,760円（基金活用額：293,000円）  
 問い合わせ：37-3488

### 課題・取組みの概要

- 庄内地区まちづくり協議会が、平成23年度にパトロールベストを作製し見守り活動を行っていたが、年数を経て痛みが激しい状態となっていたので、ベスト100枚と帽子100個を作成した。
- 地区内の小中学校（4校）の見守り活動ボランティアやPTA役員用、まちづくり協議会活動用として、各20枚を配布した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 統一したパトロールベスト及び帽子を着用することで、地域全体で見守り活動の推進を図ることができた。
- 目立ちやすい色のベストの胸側に「庄内・防犯」、背中側に「防犯パトロール」、下段には「庄内地区まちづくり協議会」の文字を反射テープで入れ込んだ。

### 今後の課題・アドバイス等

- 配布後の管理は、各団体に依頼しているため、保管状況等は把握できていない。
- 経年劣化するため、交換時期と財源も検討していく必要がある。

## 防災対策環境整備事業

LED スタンドライト



ブルーシート保管状況



取組地区：庄内地区  
 取組年度：令和2年度  
 事業主体：庄内地区まちづくり協議会  
 事業費：2,818,614円（基金活用額：2,817,000円）  
 問合わせ：37-3488

### 課題・取組みの概要

- 令和元年度に実施された総合防災訓練をきっかけに防災意識が高まり、住民自ら行動を起こすことの大切さを認識したことから、災害対策にともなうヘルメットや発電機等を購入した。
- 防災資機材を使って継続的な訓練を実施し、備品を活用した災害対策体制を構築した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 初期救助支援用にヘルメット、担架、リヤカーを整備。災害対策本部立ち上げ用に発電機、照明器具などを、避難所支援用に焚き出し用釜、発電機、ブルーシートなどを整備した。
- 災害対策本部立ち上げや避難所運営支援用の防災資機材は、令和元年度に設置した倉庫に整備保管し、定期的に点検を実施している。

### 今後の課題・アドバイス等

- 令和元年度の総合防災訓練を継続する形で、令和2・3年度も地区防災訓練を実施。整備した資機材は、発災時はもちろん、訓練にも活用する。

## 道路環境整備事業

振動コンパクター&燃料缶



道路補修箇所



取組地区：西岳地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：西岳地区まちづくり協議会  
事業費：100,650円（基金活用額：100,650円）  
問い合わせ：33-2000

### 課題・取組みの概要

- 西岳地区は市道延長が260kmと非常に長く、補修や改良要望が多い地区である。
- 市道補修のうち小規模な穴ボコは、地区住民が自主的に補修を実施している。
- 転圧機の導入により、よりきれいな補修となり、人力による負担及び作業人数も効率的に行うことができる。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 軽量で使い易い機械の選定を地元専門家と協議した。
- 事業費圧縮のため、複数社の見積りを取得した。
- 備品台帳を作成し、貸出簿により貸出状況を管理している。

### 今後の課題・アドバイス等

- 故障の回避や延命化を図るため、使用後の清掃・機器点検を使用者とまちづくり協議会で徹底して行っている。
- 細目に小規模補修を行うことにより、地区道路の安全に繋がっており重要である。

## 交通安全啓発支援事業



取組地区：中郷地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：中郷地区まちづくり協議会  
事業費：165,500円（基金活用額：165,000円）  
問い合わせ：39-0713

### 課題・取組みの概要

- 街頭啓発時に着用する揃いの上着（制服）がなく、以前からスタッフからの購入の要望があった。
- 啓発活動のアイテムとして、ボランティアスタッフジャンパーを購入した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 揃いの制服で街頭啓発を行うことで、交通安全の強いメッセージが発信できた。
- 各スタッフへジャンパーを貸与し、洗濯等各自で管理。交通指導員にも貸与し、交代時には、後任へジャンパーも引き継ぐものとする。

### 今後の課題・アドバイス等

- 更新費用の確保が必要である。

## 防犯対策事業



取組地区：中郷地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：中郷地区まちづくり協議会  
事業費：556,050円（基金活用額：548,000円）  
問い合わせ：39-0713

### 課題・取組みの概要

- 人家が少なく、広範な地域の中高生が利用する通学路で、防犯と交通安全対策上、街灯設置が必要な通学路がある。
- 複数の公民館が関わる通学路で街灯の設置が必要な3路線を選定し、16基の街灯を設置した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 夜間、暗い夜道を帰宅していた中高生の防犯と交通安全対策の強化が図られ、安心・安全なまちづくりに貢献できた。
- LED一体型、防雨型を選定した。

### 今後の課題・アドバイス等

- 電気料金及び維持管理先を、関係する自治公民館で協議調整を行った。
- 街灯は、防犯上必要と認められる箇所への設置だけでなく、現在の交通事情を考慮すると交通安全対策としても必要不可欠である。

## 有水地区防災道德教育事業



取組地区：高城地区

取組年度：平成 29 年度、平成 30 年度

事業主体：有水の将来を考える会実行委員会（有水の将来を考える会）

事業費：567,318 円（基金活用額：564,000 円（H29：330,000 円、H30：237,318 円））

問合わせ：59-9306（有水小学校）

### 課題・取組みの概要

- 高齢化が進む集落では、南海トラフ地震による大規模災害の発生が懸念されているので、地震による家具転倒を防ぐ防災対策を進めた。
- 小中学校生、保護者、公民館、民生委員、学校運営協議会が参加し、家具転倒防止版、L字金具を準備し、高齢者宅の家具固定の作業を実施した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 家具固定を実施した高齢者宅は、大規模地震の際、家具転倒が防止され安全を確保された。
- 幼稚園児や小中学生、保護者、民生委員等が参加することで、多世代交流を図るとともに、防災に対する意識付けができた。
- 平成 29 年度 28 戸、平成 30 年度 22 戸、計 50 戸の高齢者宅に家具固定を実施した。

### 今後の課題・アドバイス等

- 高齢者は、詐欺事件等が多く発生している状況もあり警戒心が強い方もいるので、訪問する際、民生委員や公民館長の同行を必要としている。

## 高城地区見守り隊支援事業



取組地区：高城地区

取組年度：平成 29 年度、令和 2 年度

事業主体：高城地区青少年育成連絡協議会※事務局は、高城地区内の小中学校が持ち回り

事業費：984,048 円（基金活用額：982,000 円（H29：606,528 円 R2：377,520 円））

問合わせ：58-2311（高城地域振興課）

### 課題・取組みの概要

- ボランティアとして活動している見守り隊を支援するため、ブルゾンベストや冬用コートを整備し、子どもたちの安心と安全を確保する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 冬用コート及び夏用ベストを整備し、着用することで、見守り隊と不審者との差別化を図り、隊員の責任感の意識を向上させた。

### 今後の課題・アドバイス等

- 見守り隊のメンバーは、各館長から小学校へ届けがあり、隊員となっている。見守り隊の意見や要望等を聞き取り、交流会や研修会を行う必要がある。
- 更新に係る費用が課題である。

## 自主防災隊資機材整備事業



取組地区：高城地区

取組年度：令和元年度

事業主体：高城地区まちづくり協議会

事業費：2,305,600円（基金活用額：2,305,000円）

問い合わせ：58-2317

### 課題・取組みの概要

○大型台風や大地震等の自然災害により、家屋の倒壊、道路への倒木が発生し、早期の人命救出、道路復旧を必要とするとき、地域の自主防災隊を中心とした災害活動を展開しなければならないので、防災資機材の整備を必要としている。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

○充電式チェーンソーやパイプテコ、救助用ロープの防災資機材を整備することで、地域住民の自助・共助に関する認識を深めることができた。

### 今後の課題・アドバイス等

○防災資機材を災害活動時に使用する際、安全な活動を徹底するために資機材の操作技術の向上と習熟を図る防災研修会を定期的に行う必要がある。

○日常の維持管理や更新に係る費用が課題である。

## 健康づくり世代間交流事業



取組地区：姫城地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：姫城地区まちづくり協議会  
事業費：770,220円（基金活用額：770,220円）  
問合わせ：46-2603

### 課題・取組みの概要

- これまで開催していたウォーキング大会等の参加者が年々少なくなってきたことから、老若男女を問わず、楽しめる新しいイベントを計画する必要がある。
- 地区内の公園や公民館を活用して、健康づくりに関するイベントや世代間の交流につながる事業活動を実施することを目的に、ウォーキングポール等を購入した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 屋内外を問わず、健康づくりにつながるイベントの実施に使用するため、ノルディックウォーキングポール、ポールウォーキングポール、ブローライフル（健康吹き矢）セットを購入した。
- ウォーキングポールを使用した、正しいノルディックウォーキングを習得するために、専門インストラクターを依頼した体験会を実施した。

### 今後の課題・アドバイス等

- 当初は、県ノルディックウォーキング協会に指導を依頼していたが、講師料が必要なことから、今後は、地区内で指導できる人材を育成する必要がある。
- 「ノルディックウォーキング」や「ブローライフル」の言葉は聞いたことがあっても、実際に扱った経験のある人は少なく、多くの人に楽しんでもらえるイベントを計画していく必要がある。
- コロナ禍の中、ブローライフルを使ったイベントの実施が難しくなった。

## 姫城地区健康増進事業



取組地区：姫城地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：姫城地区まちづくり協議会  
事業費：355,080円（基金活用額：355,000円）  
問い合わせ：46-2603

### 課題・取組みの概要

- 高齢化が進む中、高齢者の生きがいづくりや健康対策は当地区においても喫緊の課題。
- 地域で実施している「こけないからだづくり講座」と併せてスカットボールを取り入れ、高齢者等の健康増進に寄与する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 姫城地区には、4つの高齢者クラブ組織があることからスカットボールを4セット購入。
- 姫城地区公民館（中央公民館）で一括して保管している。
- 高齢者クラブや民生児童委員など、地域の団体が利用している。

### 今後の課題・アドバイス等

- コロナ禍の中、「密」にならない広い会場での利用が望ましい。
- 地区公民館やまち協支援担当職員は、利用者からゲームの進め方を聞かれるため、実施方法やスコアの付け方を把握しておく必要がある。

## こけない体操支援事業



取組地区：小松原地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：小松原地区まちづくり協議会  
事業費：868,320円（基金活用額：818,320円）  
問い合わせ：24-1900

### 課題・取組みの概要

○高齢者の健康づくりを目的に、自治公民館単位で行っている「こけない体操」の参加者が頭打ちとなっている。その原因の一つとして、会場となっている自治公民館の備品が不足していることがある。そこで、血圧測定に使用する机、エクササイズに活用できる椅子を整備することにより、内容の充実を図り、参加者の増加が期待できる。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 正座が難しいなどの理由で参加を見送っていた高齢者が参加するようになり、参加者が増加した。
- また、地域のイベント等で発表する機会を作るなど、参加者のやる気を引き出すことができた。

### 今後の課題・アドバイス等

○この事業により一定の効果は上がったものの、継続的に参加者確保のための広報活動の充実を図る。破損などにより、使用不可となった事例が報告されており、管理の徹底を図る必要がある。

## 健康増進事業



取組地区：小松原地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：小松原地区まちづくり協議会  
事業費：929,000円（基金活用額：820,000円）  
問合わせ：24-1900（小松原地区公民館）

### 課題・取組みの概要

○健康な老後生活を送るためには、スポーツを通して、継続的な体力づくりを支援することが重要である。そこで、軽スポーツ用品であるアジャタ、カローリング、ペタンクを購入し、健康教室、「こけない体操」のほか、地域の行事で活用し、住民の健康づくりに役立てていただく。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

○新型コロナウイルス感染拡大の影響で、「こけない体操」をはじめとする健康増進活動やイベントの中止を余儀なくされている。感染状況をみながら、利用促進に向けた広報活動を行っていく。

### 今後の課題・アドバイス等

○現状では購入した健康増進用具を活用できないため、新型コロナウイルス感染状況をみながら、広報活動を展開していく。

## いきいき健康増進事業①



取組地区：妻ヶ丘地区  
取組年度：平成 30 年度  
事業主体：妻ヶ丘地区まちづくり協議会  
事業費：1,299,240 円（基金活用額：1,299,240 円）  
問合わせ：23-8592

### 課題・取組みの概要

○健康増進や世代間交流を促し、地域の活性化を図る備品を求める声があった。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 地区内の自治公民館にスカットボールセット、地区公民館に紅白玉入れセットを配備したことにより、自治公民館単位での活動が増え、高齢者の参加も増えた。
- 自治公民館が健康増進、交流の場となっている。
- スカットボール大会も開催され、地区内の幼児から高齢者まで、幅広い世代が親睦を深める機会となった。
- 子育てサークルなど他団体への貸し出しも行っている。

### 今後の課題・アドバイス等

- スカットボールセット、玉入れセットの存在について広く地域住民に知ってもらい、活用してもらうことが課題。

## いきいき健康増進事業②



取組地区：妻ヶ丘地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：妻ヶ丘地区まちづくり協議会  
事業費：825,392円（基金活用額：825,392円）  
問い合わせ：23-8592

### 課題・取組みの概要

- 自治公民館単位で行っているこけないからだづくり講座を、さらに充実したものにしたいとの声があった。
- グラウンドゴルフを通して住民同士の親睦を深めたいが、用具が十分でない自治公民館があった。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 血圧計、ラジカセが各自治公民館に配備されたことで、こけないからだづくり講座の参加者にも喜ばれ、地域活性化の一助となった。
- グラウンドゴルフの用具を地区公民館に配備したことで、貸し出しができるようになり、自治公民館単位での活動が活発になった。
- 今後も地区内外の大会等で活用が見込まれる。

### 今後の課題・アドバイス等

- グラウンドゴルフセットの貸し出しについて、広く地域住民に知ってもらう。

## 祝吉地区スポーツ振興事業



取組地区：祝吉地区  
取組年度：平成 29 年度  
事業主体：祝吉地区社会教育関係団体等連絡協議会  
事業費：412,732 円（基金活用額：412,732 円）  
問合わせ：23-2890（祝吉地区公民館）

### 課題・取組みの概要

- 地区公民館で所有していたグラウンドゴルフ用具が老朽化により破損がみられた。
- グラウンドゴルフ用具 4 セット、スカットボール用具 3 セットを購入した。
- 住民の健康増進を図るため用具の貸し出しを実施する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 用具を新調したことにより、貸出件数が増加した。
- 事業費圧縮のため、複数社の見積もりを取り購入した。
- 備品台帳を作成し、貸出状況を記録している。

### 今後の課題・アドバイス等

- 更新方針：用具の破損状況などを確認し、必要に応じて更新する。
- 借用希望日が休日等に集中する場合、調整が必要である。

## 祝吉地区スポーツ振興事業



取組地区：祝吉地区  
取組年度：平成 30 年度  
事業主体：祝吉地区社会教育関係団体等連絡協議会  
事業費：115,000 円（基金活用額：115,000 円）  
問合わせ：23-2890（祝吉地区公民館）

### 課題・取組みの概要

- 地区住民へ軽スポーツの紹介と普及を図り健康増進につなげる。
- オーバルボール用具一式を購入した。
- アジャタ大会のコート設営を効率化するためフロアコンパスを購入した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 地区内の子どもから高齢者まで普及し、軽スポーツの振興と健康増進を図る。
- アジャタ大会のコート設営では、6m の正円が必要となるが、フロアコンパスを使用することで容易に設営できる。

### 今後の課題・アドバイス等

- 更新方針：用具の破損状況等に応じて補充が必要である。
- 新スポーツのため、指導者の育成が必須である。

## 五十市の健康づくり支援事業



取組地区：五十市地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：五十市地区まちづくり協議会  
事業費：792,902円（基金活用額：739,000円）  
問い合わせ：23-2184

### 課題・取組みの概要

- 健康体操等で血圧測定を行うとき、これまでは個人のものを借用していた。
- 住民の健康づくりを奨励するため、公民館等から要望があった自動血圧計を配備した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 令和2年度はコロナ禍で活用される機会が少なかった。
- 機器は、まちづくり協議会の備品とし、維持管理は貸出先の各自治公民館とした。
- 健康教室や集会開催時、計測をスムーズに行うため各館2台ずつ配備した。

### 今後の課題・アドバイス等

- こけない体操教室での利用はもとより、各種集会や会議等の合間利用も促すなど、住民の健康に対する意識高揚につなげたい。
- 電気代、電池等消耗品は各自治公民館の負担とし、耐用年数（5年）経過後は各館に移譲予定である。

## 要介護化を予防する事業



取組地区：横市地区

取組年度：平成 30 年度

事業主体：横市地区自治公民館連絡協議会

事業費：4,395,783 円（基金活用額：4,395,783 円）

問い合わせ：25-2257

### 課題・取組みの概要

- 「こけないからだづくり講座(体操)」に使用するため折りたたみ椅子、折りたたみ高机、床保護シート、血圧計、アジャストウエイト、CD ラジカセを横市地区全 18 自治公民館に必要数整備する。
- スカットボール用具・スクエアステップ、各 18 セットを横市地区全 18 自治公民館に整備する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 全 18 公民館で、「こけないからだづくり講座(体操)」が実施されるようになった。
- 購入した備品は各自治公民館が管理する。

### 今後の課題・アドバイス等

- 備品の更新については、各自治公民館で行う。
- 軽スポーツを通して三世代間交流などの事業を実施していきたい。

## 健康づくり環境整備事業



取組地区：沖水地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：“住みよいまち沖水”協議会  
事業費：213,600円（基金活用額：213,600円）  
問い合わせ：38-1033

### 課題・取組みの概要

- 住みよく、明るい沖水地区を作るために、地区住民の健康づくり、維持は欠かせない
- 「肺活量」に着目し、「肺を強くして健康づくりに寄与する」といわれる「吹き矢セット」（ブローライフル）を5セット購入した。
- 「吹き矢」指導ができるスポーツ推進員と連携して、参加者を募り、各自治公民館での講習等を行うなどして、住民の健康づくりに寄与する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- コロナ禍のため、活用の機会は今後に期待する。

### 今後の課題・アドバイス等

- 1本の筒を交代で吹き、矢を飛ばす。特にコロナ禍では、筒を使い回すことはできないため、参加する人数分の筒を準備する必要がある。  
⇒まち協で購入し、貸与するのか、個人で購入してもらうか、検討が必要である。

## 健康増進スポーツ推進事業



取組地区：志和池地区  
取組年度：平成 30 年度  
事業主体：志和池地区まちづくり協議会  
事業費：394,800 円（基金活用額：394,800 円）  
問い合わせ：36-0519

### 課題・取組みの概要

- 地域全域での継続的な健康教室の開催により、地区住民の健康増進・保持を図る。
- 「いつでも」「どこでも」「気軽に」身体を動かせる軽スポーツの用具を整える。
- スカットボール5セットとCD ラジカセ1台を購入した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- スポーツ教室やこけない体操に合わせて、地域住民によるスカットボールやラジオ体操等の軽スポーツが定期的に行われるようになった。
- 定期的に行うことで、個々の体力向上及びストレス解消に繋がっている。
- 年1回のまち協主催スカットボール大会が、健康増進及び健康維持の刺激となっている。

### 今後の課題・アドバイス等

- スカットボールの利用者が固定化してきており、今後、利用率の向上を図るため、新たな利用者を開拓する必要がある。
- 誰でもできる軽スポーツであるため、高齢者だけでなく、育成会事業等での多世代交流の一環としての取り組みにも有効と考えられる。

## 西岳地区いきいき健康づくり事業



取組地区：西岳地区  
取組年度：平成 30 年度  
事業主体：西岳地区まちづくり協議会  
事業費：849,194 円（基金活用額：849,194 円）  
問い合わせ：33-2000

### 課題・取組みの概要

- 西岳地区は高齢化率が高く、あらゆる運動に取り組み、もって住民の健康増進、コミュニティ促進を図っている。更なる効果を高めるため、誰でも手軽に出来るニュースポーツ「スカットボール」を導入した。
- スカットボール 11 セットを購入。各自治公民館へ 1 セット配布した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 本事業により、各自治公民館での運動回数が増加した。
- スカットボールにより、高齢者間の新しい繋がりも出てきた。
- 事業費圧縮のため、複数社の見積りを取得した。

### 今後の課題・アドバイス等

- 用具の破損状況を半年毎に確認。必要に応じてスポーツ普及部会で更新を行う。
- 高齢者が利用できる運動道具の購入は、健康増進や地域活性化のために特に重要と考えられる。

## 健康増進事業



取組地区：中郷地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：中郷地区まちづくり協議会  
事業費：159,200円（基金活用額：152,000円）  
問い合わせ：39-0713

### 課題・取組みの概要

- 健康増進のための貸し出し用健康器具の不足が課題である。
- こけない体づくりの一環として、手軽に年齢を問わず屋内でもできるスポーツの普及が必要である。
- 高齢者・地域スポーツの競技として、スカットボール（2セット）を購入した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 世代間交流の支援を行い地域の活性化に繋げていく。
- スカットボールの普及促進と健康増進に努める。
- 備品台帳で地域への貸し出しを管理する。

### 今後の課題・アドバイス等

- 普及員（指導者）の育成が課題である。

## 健康管理支援事業



取組地区：中郷地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：中郷地区まちづくり協議会  
事業費：142,120円（基金活用額：142,000円）  
問い合わせ：39-0713

### 課題・取組みの概要

- 現在個々の健康管理（申告）に基づき地域行事を実施しているが、公民館等が行う行事（会議等含む）において、健康管理チェックを個人及び公民館（イベント主催側）でダブルチェックする。
- 非接触型体温計購入：19個

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 各自治公民館に非接触型体温計を配布したことで、イベント主催側の健康チェックができ、安心・安全な環境づくりの一助になった。
- 管理は、各自治公民館が行う。

### 今後の課題・アドバイス等

- 高額ではあるが、医療用非接触型体温計の導入が必要である。

## 健康増進事業



取組地区：山之口地区

取組年度：令和元年度

事業主体：山之口地区まちづくり協議会

事業費：1,120,096 円（基金活用額：1,070,000 円）

問合わせ：57-3114

### 課題・取組みの概要

- 山之口運動公園が県立陸上競技場建設工事に伴い、数年間使用できなくなる。「山之口地区ふれあい大運動会」を開催し地区住民の健康増進の意識向上ならびに連携を深める。
- 子どもから高齢者まで誰でも気軽に参加出来るスポーツ大会を開催する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 「山之口地区ふれあい大運動会」を実施した。
- 山之口町内の6地域から7チーム、町内の企業も1社の参加があった。
- 数年ぶりの開催で、地域住民の健康増進、住民間の連携が深まった。

### 今後の課題・アドバイス等

- 県立陸上競技場が完成したあかつきには、「山之口地区ふれあい大運動会」（仮称）を開催予定である。

## こけない体づくり講座推進支援事業



取組地区：高城地区

取組年度：平成 29 年度

事業主体：高城地区まちづくり協議会

事業費：2,137,255 円（基金活用額：2,134,000 円）

問合わせ：58-2317（高城生涯学習センター内）

### 課題・取組みの概要

- 当該事業の取組みを高城地区では、平成 28 年度から取り入れ、その後、高城地区 21 自治公民館のうち半数の公民館が実施している。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 高齢者の身体に無理のない体操を継続することで、健康づくりや地域の顔の見える関係を築くことができた。折りたたみイス、血圧計、CD プレーヤー、アジャストウエイト（体操用おもり）を整備し、各自治公民館の必要数を配布した。

### 今後の課題・アドバイス等

- 講座は、公民館等で実施しているが、限られたスペースである。コロナ禍によりソーシャルディスタンスを維持するには、参加人数を増やすことができない状況にある。

## ニュースポーツ推進事業



取組地区：高城地区  
取組年度：平成 30 年度  
事業主体：高城地区体育協会  
事業費：507,600 円（基金活用額：507,000 円）  
問い合わせ：58-3232

### 課題・取組みの概要

- 近年、ソフトボールやミニバレー等のスポーツに参加する市民が減少し、スポーツの苦手な人でも手軽にできるニュースポーツに参加する人が増加している。
- 体育協会でニュースポーツ用品の貸し出しを行っているが、数が少ないので、整備を進める必要があった。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- スカットボール、フロアカール、オーバルボール、バグゴのニュースポーツ用品を整備し、自治公民館や高齢者、小中学校 PTA 等のレクリエーションや運動教室で行われるようになった。

### 今後の課題・アドバイス等

- ニュースポーツが高城地区全域に浸透するために、公民館に各種イベント等を取り入れていただくように啓発していく。

## 山田地区健康増進事業



取組地区：山田地区

取組年度：平成 30 年度

事業主体：山田地区社会福祉協議会

事業費：1,250,000 円（基金活用額：1,250,000 円）

問合わせ：64-2200

### 課題・取組みの概要

- 市が進める高齢者の「こけないからだづくり講座」等を積極的に導入するために必要な椅子等の備品や地域の交流を図るため、軽スポーツ用具を整備した。
- 軽スポーツ用具は幼児や小学生を交えた大人との世代間交流や、子育て中の親子の交流でも活用し、子供の体力強化とともに地域の活性化を図られた。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 「こけないからだづくり講座」は地区内の多くの自治公民館で導入され、高齢者の健康増進に役立っている。
- 軽スポーツ交流会は、希薄になりつつある世代間交流が図られ、地域の活性化と健康増進に繋がっている。

### 今後の課題・アドバイス等

- 軽スポーツ用具等の管理及び貸出業務は、事業主体である地区社会福祉協議会が行っている。

## 健康スポーツ推進事業



取組地区：高崎地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：高崎地区体育協会  
事業費：924,000円（基金活用額：924,000円）  
問い合わせ：62-1111

### 課題・取組みの概要

- 高崎地区では、健康づくりを目的に毎年、スポーツ教室を開催しており、地区住民はスカットボールを楽しんでいる。
- 教室の開催を通してスカットボールの楽しさが広まり用具の貸出依頼も増え、さらなる利用者確保に向け導入することとなった。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 導入当初から各地域公民館へ貸し出しを行い、全体として令和元年度は貸出数67回、延べ1000人以上が利用した。
- 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、貸出数5回、参加者数は75人となった。

### 今後の課題・アドバイス等

- 令和2年度は新型コロナウイルス感染症拡大にともない、貸出数・参加者数も激減したが、スカットボールは年齢に関わらず幅広く利用することができる。このため、地区住民の健康増進のため、イベントやレクリエーションで積極的に貸し出し、一層の普及促進を図る必要がある。

## 健康スポーツ推進事業



取組地区：高崎地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：高崎地区体育協会  
事業費：217,537円（基金活用額：217,537円）  
問い合わせ：62-1111

### 課題・取組みの概要

- 高崎地区では、地域住民の健康づくりを目的に毎年、スポーツ教室を開催している。
- 体育協会では、アジャタを所有しておらず、利用の際は貸し出しを受けていた。
- 自治公民館からもイベントで利用してみたいとの声や、貸出への即時対応を可能とすることで利便性が向上するため、導入することとなった。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 令和2年度はスポーツ教室での活用を予定していたが、新型コロナウイルス感染症拡大のため、各種イベントも中止となり、活用の機会がなかった。

### 今後の課題・アドバイス等

- 今後は更なる競技人口を増やすために、スポーツ教室での利用を継続していく。
- また、幅広い年齢層の地域住民に親んでもらうために、高崎地区で開催される各種イベントにて体験スペースを設け、競技に参加してもらうことで競技人口を増やしていく。

## 移動式舞台及びパネル購入事業



取組地区：小松原地区

取組年度：平成 29 年度

事業主体：小松原地区まちづくり協議会

事業費：7,972,000 円（基金活用額：7,972,000 円）

問い合わせ：24-1900

### 課題・取組みの概要

○地区まつりの企画立案、運営については、まちづくり協議会の役員を中心に行っていたが、高齢化により会場設営が大きな負担となっていた。また、地域団体においても、イベント等の開催にあたって、準備が大きな課題となっていた。そこで、軽量のアルミ製展示用パネル及び折りたたみ式アルミ製ステージを購入し、設営の効率化を図るとともに、地域団体への貸し出しを行うことにより、活動の活性化を支援することとした。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

○これまで半日かかっていた会場設営の時間を大幅に短縮するとともに、事故の危険性を軽減することができた。また、自治公民館をはじめとする地域団体、小中学校、保育所などに貸し出し、地域活性化のための活動を支援することとした。

### 今後の課題・アドバイス等

○台帳の整備など管理体制の確立が必要である。また、破損や経年劣化等による修理に対応するため、基金を活用した更新計画を策定する。

## ふれあいまつり活性化事業①



取組地区：妻ヶ丘地区  
取組年度：平成 30 年度  
事業主体：妻ヶ丘地区まちづくり協議会  
事業費：3,764,880 円（基金活用額：3,764,880 円）  
問合わせ：23-8592

### 課題・取組みの概要

- これまで文化祭で使用していた展示用パネルは重量があり、運搬や設営の際の負担が大きかったため、より軽量のパネルを、という要望が地域住民から長年上がっていた。
- 展示用パネルは毎回他施設から借用していたため、他のイベント等と重なると、希望の日時に借りられないこともあった。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 従来に比べ格段に軽いものになったことで、作業時の負担が大きく軽減された。
- これまで他施設から借用していたため、日程の調整等が必要だったが、その必要が無くなった。
- 急なレイアウトの変更にも容易に対処できるようになった。
- 今後は学校等にも貸し出しを行い、更なる活用が見込まれる。

### 今後の課題・アドバイス等

- 保管場所として地区公民館の倉庫を借用しているため、いずれはまち協で手配する必要がある。
- 耐用年数はかなりあるが、更新に係る費用について計画を立てておく必要がある。

## ふれあいまつり活性化事業②



取組地区：妻ヶ丘地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：妻ヶ丘地区まちづくり協議会  
事業費：3,706,560円（基金活用額：3,706,000円）  
問合わせ：23-8592

地域イベント

### 課題・取組みの概要

○イベント開催時に雰囲気作りや参加者の高揚感の創出を図るため、まち協のロゴ入りテント及びスタッフジャンパーを作製したいとの要望があった。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- ロゴ入りテントを各自治公民館に配備した。
- イベントで使用されることにより、協議会のイメージアップ、認知度向上に貢献した。
- イーザーアップテントにしたことで、組み立てが楽であると好評であった。
- スタッフジャンパーをイベントで着用することにより、スタッフ同士の一体感が生まれ、スムーズな運営が実現した。

### 今後の課題・アドバイス等

- 保管場所の確保と管理が課題である。
- 更新の方法の検討が必要である。

## 早水あやめまつり活性化事業



取組地区：祝吉地区  
取組年度：平成 29 年度  
事業主体：祝吉地区まちづくり協議会  
事業費：599,400 円（基金活用額：599,400 円）  
問合わせ：23-2890（祝吉地区公民館）

### 課題・取組みの概要

- 課題：祝吉地区は、市花「あやめ」が咲き誇る早水公園があり、市内外へ知名度を高めるためイベント等の開催が要望されていた。
- 概要：平成 6 年の第 1 回早水あやめまつり開催から 20 年以上が経過し、当時作成したスタッフの法被やのぼり旗の老朽化がみられたため新調。会場周辺にのぼり旗を設置することにより、まつりの周知と活性化を図った。
- 毎年 4 月 29 日（昭和の日）に「早水あやめまつり」開催する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 成果：市内外から約 6,000 人の来場者があり、地域のにぎわいづくりに寄与した。
- 事業費圧縮のため、抽選会を実施するにあたり抽選券の販売を行った。
- 集客のため、観光ガイドブックやフリーペーパーなどへまつり実施の記事を掲載した。

### 今後の課題・アドバイス等

- 今後の事業継続の方向性：毎年実施
- 今後、解消すべき点
  - ・ 荒天時の開催についての判断基準の検討。
  - ・ 出演団体との連絡調整
  - ・ あやめの開花など問い合わせが多数あるが公園管理をしていないため回答に苦慮する。
  - ・ 公園管理を行っている道路公園課との連携が必須である。

## 祝吉地区まちづくり協議会活動充実事業



取組地区：祝吉地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：祝吉地区まちづくり協議会  
事業費：484,000円（基金活用額：484,000円）  
問合わせ：23-2890（祝吉地区公民館）

地域イベント

### 課題・取組みの概要

- 祝吉地区では、早水あやめまつりやふれあい文化祭など様々なイベントを実施しているが、イベントに使用するテントの不足分を各自治公民館から借用していた。
- 祝吉地区まちづくり協議会の名前入テント3張を購入した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 協議会名入りのテントを使用することで、会場の雰囲気づくりや参加者の高揚感創出が図られた。

### 今後の課題・アドバイス等

- 更新方針：使用状況に応じて検討する。
- 備品数が増えることにより、保管場所の確保が必要となる。

## イルミ&アートフェスタ開催事業



取組地区：五十市地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：五十市地区まちづくり協議会  
事業費：1,611,917円（基金活用額：1,610,000円）  
問い合わせ：23-2184

### 課題・取組みの概要

- 地区資源の一つである「桜通り（県道都城隼人線）」で歩行者天国を実施しようと、協議会の発足直後から検討が重ねられてきた。
- しかし交通量の増加で実施が困難となり、代替案としてライトアップやイルミネーション等の検討を重ねた結果、イルミネーションと絵画や竹灯籠のアート作品を展示し、地域への愛着を深め、活性化につなげようと実施に至った。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 「桜通り」で実施するため、開催時期は開花の頃とした。
- 住民による手作りを基本として、絵画は地区内の学校、保育園等が作成。灯籠は地元の高校生に作成を依頼した。またイルミネーションの電源供給も地元の協力を得ている。
- 初回はコロナ禍のため、告知を行わなかったが、来場者からは好評であった。

### 今後の課題・アドバイス等

- 今後、10年間は毎年継続する考え方で取り組んでいる。
- 集客、駐車場確保、展示面積や参加住民の拡大等が課題であり、引き続き改善を検討したい。

## 五十市地区文化祭等充実事業



取組地区：五十市地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：五十市地区まちづくり協議会  
事業費：1,508,327円（基金活用額：1,508,327円）  
問い合わせ：23-2184

地域イベント

### 課題・取組みの概要

- 最も歴史のある文化祭において、屋外用の机、イス等が老朽化し、必要数が不足していた。
- 継続開催に向けて、備品購入と併せて、管理シール等の作成や収納倉庫の整備を行った。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 令和2年度は、コロナ禍で文化祭を中止したため活用できなかった。しかし、まちづくり協議会の倉庫やシール、収納器具の活用で、他の備品との区別や整理整頓が容易になった。
- 倉庫の設置に当たっては、生涯学習課と協議を行い、使用貸借契約を交わした。

### 今後の課題・アドバイス等

- 老朽化を前提に、再整備のための積立金等について検討する必要がある。
- 生涯学習課との使用貸借契約は、3年毎に行う必要がある。

## 横市地区まつりを活性化する事業



取組地区：横市地区  
取組年度：平成 30 年度  
事業主体：横市地区まちづくり協議会  
事業費：1,733,400 円（基金活用額：1,733,400 円）  
問い合わせ：25-2257

### 課題・取組みの概要

- 横市地区まつりは参加者 2,500 人にのぼる地区を代表する伝統行事になったものの、備品の不足により規模を大きくできなかった。
- 横市地区まつりに使用する折りたたみイスや折りたたみ机を各 160 セット、組み立てテント 5 張りを購入する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 従来の備品に比較して、軽量化され作業能率が向上している。
- 備品が新しくなり、横市地区まつり展示物等の華やかさを演出できている。

### 今後の課題・アドバイス等

- 備品の管理はまちづくり協議会が行う。
- テントなどの備品は、地区の団体や学校の行事に貸し出している。
- 更新費用に係る計画を立てる必要がある。

## 地域文化活性化事業



取組地区：沖水地区  
取組年度：平成 30 年度  
事業主体：“住みよいまち沖水”協議会  
事業費：1,897,534 円（基金活用額：1,423,000 円）  
問合わせ：38-1033

地域イベント

### 課題・取組みの概要

- 「おきみず祭り」を学社融合の一貫として、沖水小学校で開催してきた。
- 20 回目の記念事業として、2 週に分け、2 部を地場産業センターで開催した。
- 2 部では、シャトルバスの運行や熱気球の体験搭乗などを実施した。
- 例年実施していない会場「2 部」を設けた。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 例年に増して、多くの地区住民が来場。盛会となった。
- 会場「2 部」の地場産業センターでは、集客のためシャトルバスを運行した。
- 抽選会を行うことで集客を図った。

### 今後の課題・アドバイス等

- 近年の社会情勢から、小学校を会場とすることは検討が必要である。
- 催し内容についても検討が必要である。

## 地域スポーツイベント支援事業



取組地区：沖水地区

取組年度：平成 30 年度

事業主体：“住みよいまち沖水”協議会

事業費：2,543,307 円（基金活用額：2,543,307 円）

問合わせ：38-1033

### 課題・取組みの概要

- 復興の一助にと終戦翌年から始まった沖水地区大運動会。参加者確保やスムーズな運営のためにも、備品等の更新、購入が必要であった。
- スムーズな準備、運営に欠かせない備品や消耗品と運動会を盛り上げるアーチや優勝旗等の備品を新調、購入した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 運動会の準備、進行がスムーズになった。
- アーチ等、新しい備品等により運動会が盛り上がった。

### 今後の課題・アドバイス等

- 運動会の継続及び参加者の確保が課題である。
- 備品、消耗品の更新時期と財源確保が課題である。

## イベント環境整備事業



取組地区：沖水地区  
取組年度：平成 31 年度  
事業主体：“住みよいまち沖水”協議会  
事業費：5,297,955 円（基金活用額：5,297,955 円）  
問合わせ：38-1033

### 課題・取組みの概要

- 当地区では、大運動会や祭りなど数多くのイベントを開催し、使用してきた備品等が老朽化したため、継続的な開催に支障をきたす恐れがあった。
- おきみず祭りの作品展示用として、軽量パネル 40 枚とキャスター付き支柱 60 本、収納台車 2 台を購入した。
- 健康増進を図るため、スカットボール 6 セット購入し、イベント等で使用し、貸出も行う。
- イベント等で使用する道具類の収納場所の明確化と準備しやすさのため、新たに倉庫を設置した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- わくわくらリーでスカットボールを実施した。
- 倉庫の収納が増えたことにより、配置が明確になり、取り出し及び準備が早くなった。
- 倉庫の収納品一覧を作成し、管理している。

### 今後の課題・アドバイス等

- パネル活用の機会は今後に期待する。
- 活用機会の増大が期待できる。
- 備品の更新時期と更新費用について計画を立てる必要がある。

## まつりパワーアップ支援事業



取組地区：志和池地区  
取組年度：平成 30 年度  
事業主体：志和池地区まちづくり協議会  
事業費：3,262,424 円（基金活用額：3,262,424 円）  
問い合わせ：36-0519

### 課題・取組みの概要

- 地域活性化のために開催しているイベント（文化祭、盆踊り大会等）に必要なテントや発電機は、その都度借用していたため、常備するとともに活用の幅を広げることを検討していた。
- 各地区で開催される祭りや子ども神輿・芸能大会等で使用する衣装を揃えるため、ハッピ（大人・子供用各 60 着）や浴衣（女性用 30 着）を購入した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 地域住民を巻き込んだ各種事業を通して、地域住民の一体感を演出できるようになった。
- 衣装の好みがそれぞれ違うため、デザインの選定に苦労した。
- 備品の貸出は管理台帳で行い、衣装は借着者がクリーニング後に返却してもらっている。

### 今後の課題・アドバイス等

- 備品の経年劣化もあるが、当面は、修繕等に対応できるものと考えている。
- 消耗品（衣装）は、黄ばみ等の発生も考えられるため、今後の状況を見ながら費用負担を含めた更新について検討していく必要がある。
- 地域住民の交流を図ることから、地域が一丸となって取り組むべき事業である。

## 盆踊りやぐら整備事業



取組地区：志和池地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：志和池地区まちづくり協議会  
事業費：706,333円（基金活用額：706,333円）  
問い合わせ：36-0519

### 課題・取組みの概要

- 盆踊りなどの地区内行事を盛り上げ、踊り手も来場者も祭りの雰囲気を楽しめ、記憶に残るイベントとして継承できる環境を構築する。
- イベント会場の中央に設置する組立式木造やぐら1台を作製し、装飾のための提灯・紅白幕等の付属品も購入した。
- 自治公民館や学校等の行事にも貸し出し、有効活用を図る。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 屋外で開催される盆踊り大会では、やぐらを円形に囲んで、来場者が地元の盆踊り（志和池音頭）を総踊りし、伝統の継承と連帯感の醸成を図ることができる。
- 部材が軽量で長持ちであることに加え、軽トラックでの運搬が可能で、組立が容易である。

### 今後の課題・アドバイス等

- やぐらに飾る提灯や紅白幕等の付属品の経年劣化に伴い、定期的に更新や補充をしていくために、計画を立てておく必要がある。

## 屋外放送機器整備事業



取組地区：志和池地区

取組年度：令和元年度

事業主体：志和池地区まちづくり協議会

事業費：1,116,072円（基金活用額：1,116,072円）

問合わせ：36-0519

### 課題・取組みの概要

- 地区内の各種イベントや盆踊り大会等の開催に際し、出演者の音声や声楽を来場者が聴き取れるよう、放送機器を整備する。
- アンプ、防滴スピーカー、マイク、ミキサー等、屋外行事でも使用可能な放送機器を購入。
- 公民館や学校等の行事にも貸し出しを行い、有効活用を図る。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 屋外イベントでは聞き取りにくかった郷土芸能（田の神さあ等）の出演者の音声（台詞等）を、ピンマイク等で集音。調整機材を介して、屋外スピーカーからも聴き取れるよう放送することで、笑いの中で伝統芸能を継承できるよう工夫した。
- 管理台帳を基に貸し出しを行っている。

### 今後の課題・アドバイス等

- 放送機器に対応できる人材の確保と、機器の定期的な点検が必要である。

## 西岳地区ふれあい文化祭事業



取組地区：西岳地区  
取組年度：平成 30 年度  
事業主体：西岳地区まちづくり協議会  
事業費：625,750 円（基金活用額：625,750 円）  
問い合わせ：33-2000

### 課題・取組みの概要

- 西岳地区ふれあい文化祭では地区内外から資材調達を行ってきたが、高齢化に伴い年々準備も厳しくなってきたので準備負担軽減や来場者対応を図る必要がある。
- テーブル 20 台、イス 60 脚を購入した。
- 西岳ふれあい文化祭や各地区の祭り・行事等で使用している。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- テーブル・イス購入により、より多くの高齢者の負担が軽減した。
- 西岳地区社会教育関係団体等連絡協議会が保管・管理を行っている。
- 複数社の見積りにより、事業費圧縮を図った。

### 今後の課題・アドバイス等

- 高齢者利用のテーブル・イスなので、返却時のネジ緩み等の確認を徹底する。
- 屋外での使用時に足元の清掃を徹底することで延命化を図る。
- 耐用年数を勘案した更新及び補完が必要となる。

## イベント周知事業



取組地区：西岳地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：西岳地区まちづくり協議会  
事業費：470,800円（基金活用額：470,800円）  
問い合わせ：33-2000

### 課題・取組みの概要

- 催しの時に、地区住民への告知や周知が徹底されていなかった。
- 看板やポスターを充実させ、イベントの活性化・成功に繋げていきたい。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 大型プリンターを導入したことで、各団体が実施する事業の充実が図られた。
- 事業費圧縮のため、複数社の見積りを取り購入した。
- 備品台帳を作成し、また貸出簿により利用状況を管理している。

### 今後の課題・アドバイス等

- 使用後に機器の不具合状況を双方で確認している。
- 使用料によりインク代・修理代を充填していかなければならない。

## イベント環境整備事業



取組地区：西岳地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：西岳地区まちづくり協議会  
事業費：1,159,200円（基金活用額：1,159,200円）  
問い合わせ：33-2000

### 課題・取組みの概要

- 屋外での文化祭やスポーツフェスタ、グランドゴルフ大会等の各種イベント時に使用する持ち運び可能な音響機器がなかったため、運営に支障があったため、音響機器を1セット購入した。
- グランドゴルフ等のイベント開催時に伴うグランド整備は、高齢者による人力作業では困難な状況であったことから、乗用型モアを1台購入した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 事業費圧縮のため、複数社の見積りを取得した。
- 台帳を整備し、貸出簿により適切に管理している。

### 今後の課題・アドバイス等

- 毎回使用毎に、機器の破損状況を確認し、必要に応じて修繕を行っている。
- 機械の延命のため、定期的な乗用モアの管理や整備が必要である。
- 維持管理費用や更新費用について検討が必要である。

## イベント支援事業



取組地区：山之口地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：山之口地区まちづくり協議会  
事業費：1,130,122円（基金活用額：1,130,122円）  
問い合わせ：57-3114

### 課題・取組みの概要

- 山之口地区まちづくり協議会では、地区の活性化につなげるため、多種多様な団体により様々な活動を行っている。イベントや日々の活動において、必要な備品の整備を行う。
- イベント時に必要な移動式のポータブルアンプやテントを購入し、各種イベントに活用する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 放送器具一式とテントを購入。放送器具、テントは公の行事、各種団体のイベント等に貸出を行っており活用の幅を広げている。また、有事の際、防災用としても活用する。

### 今後の課題・アドバイス等

- 山之口地区まちづくり協議会の備品(写真付)に登録し、適切な管理、貸し出しを行う。
- 維持管理費用や更新費用について検討が必要である。

## 都城さくらマラソンおもてなし事業



取組地区：高城地区

取組年度：平成 30 年度

事業主体：都城市食生活改善推進員連絡協議会高城地区

事業費：251,232 円（基金活用額：251,000 円）

問合わせ：58-4859

### 課題・取組みの概要

○九州各県からの参加もある都城さくらマラソンは、参加者が減少しているため、ランナーへのおもてなしを強化し、高城地区の地域活性化及び賑わい創出を推進する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

○大会は、地域のスポーツ振興や市民の健康づくり、体力づくりだけでなく、桜の名所としての観音池公園の知名度アップ、公園の利用者増、地域の活性化に貢献した。今回、ランナーに対するおもてなしとして、飲み物だけでなくバナナやイチゴ等の食べ物を準備し、好評であった。

### 今後の課題・アドバイス等

○今後も事業を継続するためには、各自治公民館の参加を呼びかけていく必要がある。

## 山田地区体育祭開催事業



取組地区：山田地区  
取組年度：平成 30 年度  
事業主体：山田地区まちづくり協議会  
事業費：795,213 円（基金活用額：795,213 円）  
問い合わせ：64-1121

### 課題・取組みの概要

- 合併前に「町民体育祭」として開催されていたイベントの復活を望む声があった。
- 山田地区住民が一堂に会した体育祭を 9 年ぶりに開催した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 山田地区住民が久しぶりに一堂に会し、活気のあるあふれた雰囲気イベントとなった。参加者からは「とても良かった」という言葉が多く寄せられ、地域の親睦が図られた。
- 一方で 9 年ぶりの開催となったため、準備等関係者の負担が大きかった。また、各自治公民館では選手の選出に苦労されていたようである。

### 今後の課題・アドバイス等

- 開催に際しては自公連等との連携が不可欠であり、今後の事業継続については、関係団体と調整を図りながら実施方法等の検討が必要である。

## 婚活レクリエーション事業

取組地区：山田地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：山田地区まちづくり協議会  
事業費：97,421円（基金活用額：97,421円）  
問い合わせ：64-1121

### 課題・取組みの概要

- 山田地区では、若者の減少や子どもの出生率の低下が進んでおり、地域の課題となっている。
- 独身男女の交流会を企画し、山田地区の良さをアピールし、若者の定住・活性化に結び付ける。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- コロナ禍の中で、地域資源を活用したお見合いイベントをどのように実施できるかを、アドバイザー（NPO 法人良縁どっと混む）と準備計画していたが、最終的に中止となった。

### 今後の課題・アドバイス等

- 都城市地域おこし協力隊による婚活ナビでは、趣味で繋がる独身者のための“恋活”イベントとして『サークルコン』や『ゴルフ DE 婚活』など、魅力的な内容で取り組んでいる。
- 山田地区の自然や歴史、伝統工芸や食材などを組み入れた、特色的で少しおしゃれな交流ワークショップ等を企画するなど、独身者の出会いの場の提供を検討する必要がある。

## 高崎地区縁結び促進事業



取組地区：高崎地区  
取組年度：平成 29 年度～令和元年度  
事業主体：高崎地区まちづくり協議会  
事業費：2,139,193 円（基金活用額：1,535,417 円）  
問い合わせ：62-1111（内線 211）

### 課題・取組みの概要

- 高崎地区は、この 10 年間で約 2,000 人減少するなど少子高齢化が顕著になってきているが、その一方で「出会いの場」を求める多くの独身者がいる。
- このような中、当協議会では、平成 26 年度から少子化対策と地域の活性化を目的とした縁結び促進事業、結婚アドバイザー事業等を実施。今後も事業を継続するものとしている。
  - ・たかぎき恋物語（集団お見合いパーティー形式の婚活イベント）
  - ・高崎よかにせ研究会（異性との接し方などスキルアップ事業）

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 参加予定男性に「高崎よかにせ研究会」として、事前に異性との接し方などのスキルアップを図った。
- 計 30 組以上のカップルが成立し、うち平成 27 年度以降に成立したカップルの内 5 組が結婚まで至るなど、成果を挙げている。

### 今後の課題・アドバイス等

- 参加者の減少、固定化が懸念されている。
- コロナ禍に対応するイベント内容の検討が必要である。

## タイムカプセル開封記念事業



取組地区：高崎地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：高崎地区まちづくり協議会  
事業費：2,001,948 円（基金活用額：2,000,000 円）  
問合わせ：62-1111（内線 211）

### 課題・取組みの概要

- 市主催事業で、平成 2 年に高崎町制施行 50 周年記念及び新庁舎落成を機に、庁舎敷地内にタイムカプセルを埋設し、30 年後の令和 2 年 2 月に掘り起こすこととしていた。
- これに乗り、まちづくり協議会で記念事業を開催。協議会のアピールと、地域の活性化に繋げることを目的とした。
- 記念事業では、高崎町出身で東京在住の国際ジャーナル社の末森満氏に、発展途上国の開発問題に長年取り組んできた経験から見た地域振興の講演のほか、開封を記念して、記念 DVD の作成を行なった。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- タイムカプセルが埋められていた 30 年の歴史（今までの映像）と平成 31 年度のイベント等を交えた DVD を作成し、記念事業で上映した。
- DVD は、記念事業後も高崎福祉保健センターで開催する各種イベントの際にロビー上映し、各地域公民館や学校に配布することで、郷土愛を育むものとして活用した。

### 今後の課題・アドバイス等

- DVD の作成枚数、配布先、活用方法の検討を十分に行なう必要がある。

## 芸術文化環境整備事業



取組地区：高崎地区

取組年度：令和元年度

事業主体：都城芸術文化協会高崎支部

事業費：831,330円（基金活用額：831,330円）

問い合わせ：62-1111

### 課題・取組みの概要

- 都城市は、毎年文化まつりを開催しており、高崎支部加盟団体のほか、小中学校や福祉施設等で作製した絵画や書道の作品を展示している。
- 作品展示に際し、展示パネルを使用しているが、パネル・支柱ともに旧式で非常に重く、金属製であり重量等のため、組み立てに苦慮していた。
- 組み立て作業の効率を高めることで余剰時間を別作業に充て、まつり内容の充実を図るために導入した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 展示パネル、展示用ハンガーフックを導入したことにより、展示に係る作業時間を大幅に短縮。余剰時間を展示会場の別作業や作品の製作に充てることができ、芸術文化の発展に寄与している。
- 新型コロナウイルスワクチン接種事業において、案内板の表示に使用することができ、円滑な事業遂行に寄与するなど副次的な効果もあった。

### 今後の課題・アドバイス等

- 今後も、他の団体へ展示パネルを貸し出し、さらなる芸術文化の披露の場の充実を図る。様々な用途で展示パネル等を有効活用することで、地域の活性化に役立てる。

## イベント環境整備事業



取組地区：高崎地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：高崎地区まちづくり協議会  
事業費：733,536円（基金活用額：733,536円）  
問い合わせ：62-1111（内線211）

### 課題・取組みの概要

- 高崎地区は他地区に比べ、年間を通してさまざまなイベント事業が多く、当協議会は各事業において主体的または間接的に活動しながら、地域の活性化につなげている。
- 以前は、高崎福祉保健センターで使用する横断幕や垂れ幕、ポスターなどの作成については、既存のプリンターで対応できず、各団体ともに大変苦慮していた。
- 本事業により大型プリンターを導入したことで、必要な印刷物をいつでも作成できるようになり、作成期間の短縮や作成コストの抑制につながった。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 各団体にもプリンターを活用してもらうことで、本協議会と各団体との連携を深め、地域全体の活動の活発化にも繋がった。
- 必要な団体自らが印刷物の作成に取り組むことで活動の活性化と自主性が促される。
- 団体の創意工夫によるイベントの独自性を生み出し、各イベントの集客を増やすことで地域の活性化に繋げる。

### 今後の課題・アドバイス等

- 新型コロナウイルス感染拡大防止の観点により、各事業、イベントが中止となり利用がない状態である。収束後、各団体等に積極的な活用を促す。
- 5年保守パックでの購入であったため、今後、消耗品、保守契約の更新にかかる予算確保が必要である。

## 高崎地区イベント看板等整備事業



取組地区：高崎地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：高崎地区まちづくり協議会  
事業費：648,862円（基金活用額：648,862円）  
問い合わせ：62-1111（内線211）

### 課題・取組みの概要

- 高崎地区では、毎年多くのイベントや大会を各種団体による実行委員会や、まちづくり協議会が中心となって開催している。
- 各種イベントの中には、地域内の商工業者等から協賛金を募り開催経費の財源としているものもある。
- しかし、資金調達が厳しい状況であり、看板等の資材作成及び労務負担が生じている。
- このため、開催経費及び主催団体による準備作業にかかる負担軽減を図る必要があり、共用できる、イベント会場整理看板及び誘導等で使用するカラーコーン等を整備する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 整備した看板等については、まちづくり協議会で管理を行い、汎用性の高い看板等は地区内で開催される各種イベント等への貸出を行う計画である。  
本事業の実施により、各種イベントの経費削減、準備等の簡素化により内容の充実と盛り上げ効果を期待している。

### 今後の課題・アドバイス等

- 備品台帳、貸出簿の整備により所在を明確にし、備品管理を適正に行うことで紛失等を防止する必要がある。
- 棄損等による補充にかかる予算の確保が必要である。

## PR看板及び街灯フラッグ作製事業



取組地区：高崎地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：高崎地区まちづくり協議会  
事業費：899,030円（基金活用額：899,030円）  
問い合わせ：62-1111（内線211）

地域イベント

### 課題・取組みの概要

- 高崎地区は他地区に比べ、年間を通してさまざまなイベント事業が多く開催されている。当協議会は、各イベントにおいて主体的または間接的に活動しながら、地域の活性化を図っている。
- また、地区に高崎総合公園等の観光施設や、高崎古墳群、観音瀬等の史跡があるがその魅力を発信する手段が乏しい状況であった。
- PR看板を町内要所に設置することで、高崎地区の魅力を発信に寄与するものである。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 高崎地区の観光、史跡情報を掲載した看板を修復、設置（2箇所）した。
- 国道221号線に設置してある街灯吊り下げ用フラッグを製作（100枚）した。
- 移動式デジタルサイネージ（大牟田農産加工センター内）を設置した。

### 今後の課題・アドバイス等

- コロナ禍で、祭りの中止によりフラッグの使用機会が無い。今後の活用を期待する。
- 看板の維持補修に伴う経費確保、フラッグの経年劣化による補充が必要である。

## 子ども会育成連絡協議会振興事業



取組地区：祝吉地区  
取組年度：平成 29 年度  
事業主体：祝吉地区社会教育関係団体等連絡協議会  
事業費：432,000 円（基金活用額：432,000 円）  
問い合わせ：23-2890（祝吉地区公民館）

### 課題・取組みの概要

- 課題：地区内に小学校が 2 校あるが、学年間や学校間の交流が少ない。
- 概要：アジャタ（玉入れ）用具 4 セットを購入した。  
毎年 8 月に子育連と共催により、祝吉地区子ども会交流大会（アジャタ大会）を実施している。

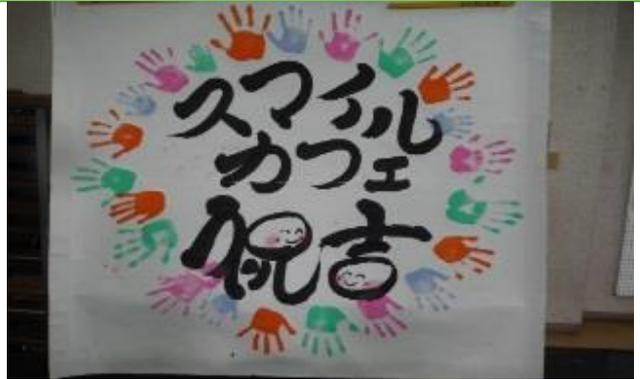
### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 成果：地区内の小学校 2 校の児童によりチーム編成し大会を実施、これにより学校間及び学年間の交流ができた。
- 工夫した点：各小学校へアジャタ大会参加申込書を配布し、学校ごとに集約をお願いした。

### 今後の課題・アドバイス等

- 今後の事業継続の方向性：毎年実施を検討する。
- 今後、解消すべき点：祝吉地区子育連役員が、毎年交代するため事業の引継ぎが十分でない場合がある。

## スマイルカフェ祝吉賑わいづくり事業



取組地区：祝吉地区

取組年度：平成 30 年度

事業主体：祝吉地区社会福祉協議会

事業費：179,020 円（基金活用額：150,220 円）

問い合わせ：080-2772-9661

### 課題・取組みの概要

- 都城市生活自立相談センターが支援する世帯の中には、経済的な困窮に限らず、病気や障がいなどで悩んでいる人や、ひとり親世帯、外国籍の人など、その背景は多様である。
- こうした世帯の中には人とのつながりが希薄であったり地域環境に慣れず、社会で孤立していたりしている場合も少なくない。
- そうした世帯への支援として、つながりやふれあい、新たな出会いのきっかけになることを目指して「スマイルカフェ祝吉」を開催する。
- 毎月 1 回、主に第 3 土曜日に地区公民館にて「食の支援」及び「居場所づくり」を行う。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 初めての取り組みであったが、民生委員児童委員協議会や施設等連絡会加盟施設、女性連絡協議会、大学生ボランティアなど地域の様々な機関に協力をもらいながら実施できた。
- 保育士によるレクリエーションを行い、子どもが楽しく過ごしながらも保護者も休めるよう配慮した。また、料理の配膳や盛り付けを一緒に行う中で、生活習慣の定着を目指した。
- 参加者の負担にならないよう一家族当たり 100 円を負担してもらい、一食 300 円を目安に食事を提供するなど事業費軽減にも努めた。
- 不登校の児童生徒も毎回参加していて、居場所づくりの支援にもつながっている。

### 今後の課題・アドバイス等

- 未就学児から高校生ままでと対象が幅広いため、「料理の手伝いが困難な子どもが参加する時間を決める必要がある」ことや役割分担の不明確さ、負担の差など事前準備の確認不足があがった。詳細についても、打ち合わせを密に行うことが重要課題である。

## スマイルカフェ祝吉賑わいづくり事業



取組地区：祝吉地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：祝吉地区社会福祉協議会  
事業費：226,853円（基金活用額：207,553円）  
問い合わせ：080-2772-9661

### 課題・取組みの概要

- 都城市生活自立相談センターが支援する世帯は、経済的困窮に限らず、病気や障がいで悩んでいる人や、ひとり親世帯、外国籍の人など多様である。また、こうした世帯の中には人とのつながりが希薄なため地域環境に慣れず、孤立している場合も少なくない。そのような世帯への支援として、つながりやふれあい、新たな出会いのきっかけづくりのため、毎月1回、第3土曜日に地区公民館にて「食の支援」及び「居場所づくり」を行う。令和元年度は10回開催し、参加者総勢266名となった。

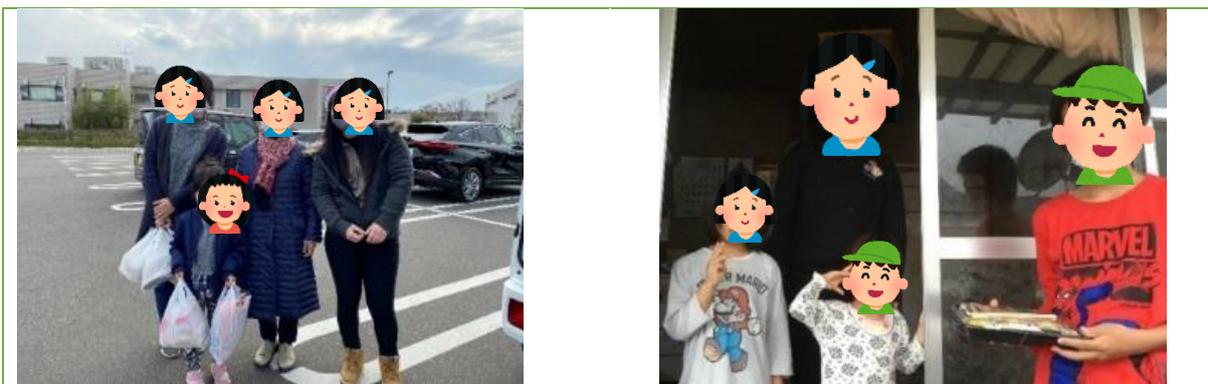
### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 生活支援として、手洗いや歯磨き指導などを行った。食事の配膳などは、進んで取り組む様子もみられた。地区公民館に来ることが困難な世帯に対しては、都城市社会福祉協議会の車を用いて送迎を行い参加しやすくなるよう工夫した。対象が未就学児から高校生ままで幅広く、料理の手伝いが困難な子どもが参加する時間を決める必要性があり、ふれあいの内容を決めて新聞シアターなどの遊びや小さい子どもでも盛り付けができるような料理をメニューに取り入れた。また、事前に実行委員会で打ち合わせのほか、料理班においても事前に打ち合わせを行うことで、当日円滑に実施することができた。

### 今後の課題・アドバイス等

- 今後は、外国籍の方が参加された場合も想定して、外国のお菓子や料理にも挑戦することで交流のきっかけとしたい。新型コロナウイルス感染拡大という未知の状況下でも、つながりを絶やさない取り組みを考えていく必要がある。

## スマイルカフェ祝吉事業



取組地区：祝吉地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：祝吉地区社会福祉協議会  
事業費：283,800円（基金活用額：234,000円）  
問い合わせ：080-2772-9661

### 課題・取組みの概要

- 毎月1回、主に第3土曜日に地区公民館にて「食の支援」及び「居場所づくり」を行う。対象者は、地域で孤立している世帯や生活困窮世帯としている。新型コロナウイルス感染症の影響で例年開催していた集合型の会は中止となる。そこで、弁当配布に変更し、これまでのつながりを絶やさないためにも継続して事業を実施した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 毎月訪問し顔を見て声掛けを行うことで、地域住民とのつながりが継続された。訪問活動を通して、家庭の様子などが把握でき、さらなる支援につながった。対象者も毎回弁当配布を楽しみにしてくれており笑顔で迎えてくれ子どもたちの成長も楽しみとなった。11回実施し、計250個の弁当を配布した。また、新型コロナウイルス感染症の影響で都城市社会福祉協議会に来所される相談者も増え、新たにスマイルカフェ祝吉へつなぐことができた。また、12月にはクリスマスケーキの材料配布を行うなど参加者が自宅にいても楽しめるよう工夫した。

### 今後の課題・アドバイス等

- 令和2年度は弁当配食だったため、限られた時間の中で特定の人との関わりしか生まれず、参加者同士横のつながりなどが希薄化した。そのため今後は感染症対策を万全に行っただうえで、集う場をつくっていききたい。また、現在の参加者は子育て世帯が中心であるが、民生委員の情報などをもとに、地域で困っている高齢者なども事業の対象とする中で、地域でのつながりや居場所づくりを強化していきたい。

## 読み聞かせ本整備事業

読み聞かせの様子（菓子野小学校）



読み聞かせ本専用本棚



取組地区：庄内地区  
取組年度：平成 30 年度  
事業主体：庄内地区まちづくり協議会  
事業費：758,379 円（基金活用額：758,000 円）  
問い合わせ：37-3488

### 課題・取組みの概要

- 地区内小学校（庄内・菓子野・乙房）に、それぞれボランティアの読み聞かせグループがあり、定期的に読み聞かせを行っている。読み聞かせに適した本は、ある程度の大きさがあること、絵がよく見えるなどの条件があるが、各学校図書館には条件に合う蔵書が少ない状況にあった。
- 読み聞かせ用の本 399 冊と本棚を整備。庄内小・乙房小・菓子野小に配付し、3 校の読み聞かせグループが定期的に入れ替えを行いながら、子どもたちへの読み聞かせに活用する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 蔵書が増えたことで、読み聞かせ時間を延長する学校がでてきた。
- 読み聞かせグループ同士の交流会が開催され、読み聞かせのスキルアップが図られた。
- 読み聞かせグループが本の管理簿を作製し、本の入れ換えや管理を行っている。

### 今後の課題・アドバイス等

- 定期的に読み聞かせグループと意見交換を行い、本の整備・管理について情報収集する。

## 多世代交流事業



取組地区：西岳地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：西岳地区まちづくり協議会  
事業費：684,042円（基金活用額：684,042円）  
問い合わせ：33-2000

### 課題・取組みの概要

- 地域交流拠点の場での高齢者が利用しやすい資材・機材が不足していた。
- 空店舗を活用した、西岳米や地域物産等の直売所を兼ねた地域の交流及び活性化を図る場所の充実を目指していた。
- 冷蔵庫、イス、テーブル、手すり付玄関台を購入する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 高齢者が使用しやすい資材を購入したことにより、交流の時間が延びた。
- 事業費圧縮のため、複数社の見積りをとった。
- 高齢者に対する優しい動線確保に努めた。

### 今後の課題・アドバイス等

- 破損等の状況を使用毎に確認し、高齢者事故が無いように修理及び更新していく。
- 個々の高齢者を考慮して、座る高さの異なるイスを揃える必要がある。

## ダンボールアートチャレンジ事業



取組地区：山之口地区  
取組年度：平成 30 年度  
事業主体：山之口地区まちづくり協議会  
事業費：282,780 円（基金活用額：250,000 円）  
問い合わせ：57-3114

### 課題・取組みの概要

- 身近なダンボール素材を使った作品に触れ、また、作品作りを体験する。未来を担う子供たちの想像力を高めるとともに、ものづくりの楽しさを伝えることが目的である。
- ダンボールアート作家を招き、子どもたちを対象にワークショップを開催する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 子供たちは、友達と相談しながら、手づくりでものを作ることの楽しさを味わった。
- 作成するものとしては、山之口町ならではのものである「弥五郎どん」を作製した。

### 今後の課題・アドバイス等

- 今後、未来を担う子どもたちの想像力を高める事業を検討したい。

## 平和講演会事業



取組地区：山之口地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：山之口地区まちづくり協議会  
事業費：1,201,121円（基金活用額：1,201,000円）  
問い合わせ：57-3114

### 課題・取組みの概要

- 戦後生まれの人口が8割を超えた今、戦争を知らない世代に悲惨な戦争の記憶を伝え後世に語り継ぎ、痛ましい戦争を繰り返さないよう不戦の思いと平和の尊さを学び、次世代に継承する。
- 諸外国では、今なお紛争が絶えず、多くの方が犠牲になっている。その紛争地に赴き惨状を伝えている戦場カメラマン「渡部陽一」氏の講演会を実施した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 戦場カメラマン「渡部陽一」氏を招き紛争地の現状を拝聴し「戦争の悲惨さ平和と命の大切さ」を学ぶ平和講演会を開催し、平和・戦争について学んだ。
- 今回は、将来を担う山之口町内小学校5年生、6年生、山之口中学校全校生徒を対象とした。

### 今後の課題・アドバイス等

- 今後、小中学生を対象とした各種講演会を計画したい。

## ふれあい交流事業・地域支援事業



取組地区：高城地区

取組年度：令和元年度

事業主体：高城地区社会福祉協議会

事業費：333,960円（基金活用額：333,000円）

問い合わせ：58-3279

### 課題・取組みの概要

- 当会は、自治公民館ボランティアや民生委員児童委員協議会等の団体等と連携し、にぎわい創出とふれあいと交流の場を提供しているが、地域福祉の推進と地域の活性化を目的に必要な機材の器材を整備するものである。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 地域福祉活動支援のために、研修会等で使用するプロジェクターを整備した。また、ボランティアふくしま祭り等のイベントで使用するため、わた菓子機とシャボン玉製造機を整備し、にぎわい創出とふれあいと交流の場に大きく貢献した。

### 今後の課題・アドバイス等

- 若者の人口流出、少子高齢化に歯止めがかからない高城地区において、にぎわい創出、ふれあいと交流の場を多く設けることで、ボランティア活動の推進と社会福祉活動への理解を広めていく必要がある。

## 夜の昆虫採集カブトムシ相撲大会事業



取組地区：山之口地区

取組年度：平成 30 年度

事業主体：山之口町子ども会育成連絡協議会

事業費：113,345 円（基金活用額：96,000 円）

問い合わせ：57-3114

### 課題・取組みの概要

- 子どもが昆虫と触れ合う機会、また、自然に親しみ、遊ぶ機会が少なくなっている。
- 自然に親しみ、昆虫と触れ合うイベントの開催また、講師による講演会の開催を行う。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 昆虫の森関連で安全確保のため段階の施行ができた。
- 講師による昆虫と自然について講義を受け、夜の光に集まる虫の観察採集また、カブトムシ相撲を行い、子どもが自然に触れ、自然に学ぶことが出来た。
- 参加者全員がカブトムシと飼育セットを持ち帰り、夏休みに飼育観察を行った。

### 今後の課題・アドバイス等

- 平成 27 年度に昆虫の森を整備して以来、毎年イベントを開催しているが、継続及び参加者の確保が必要である。

## 祝吉ホタルの里活性化事業



取組地区：祝吉地区

取組年度：平成 30 年度

事業主体：祝吉ホタルの里保存会

事業費：353,300 円（基金活用額：353,300 円）

問合わせ：23-2890（祝吉地区公民館）

### 課題・取組みの概要

- 祝吉地区内のホタルの生息する水路が管理不足のため雑草が繁茂していた。  
また、水路の場所を示す案内板の設置が要望されていた。
- 水路の清掃活動のため、チェーンソー1台を購入した。
- 案内看板及び環境保護を啓発するための看板を設置した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- ホタルの里入口付近に場所を示す看板及び環境保護看板を設置した。
- ホタルを見る会を開催し、環境保護を身近に感じる機会を設ける。

### 今後の課題・アドバイス等

- 更新方針：毎年ホタルを見る会を実施する。
- 環境保護のため、定期的な除草や水路清掃が必要である。

## 蓮池(はずいけ)周辺整備事業



取組地区：志和池地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：志和池地区まちづくり協議会  
事業費：972,000円（基金活用額：972,000円）  
問い合わせ：36-0519

### 課題・取組みの概要

- 由緒ある蓮池を「志和池の名の発祥地」としてふさわしく、志和池地区の「心の故郷・憩いの場所」として利用できるよう周辺整備する必要があった。
- 蓮池を地区の大切な場所として継承していくため、池周辺の駐車場約200㎡の舗装整備を行い、管理体制を構築した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 蓮の開花時期などには住民らが訪れ、整備された駐車場を利用している。
- 交通の支障にもならず安心・安全な駐車ができ、憩いの場として利用されている。
- 維持管理が、長期的に不要となるよう舗装構成とした。
- 駐車場内での事故防止や整然と駐車できるよう、一部区画線を引いた。

### 今後の課題・アドバイス等

- 整備後の管理は、土地所有者の公民館で行っている。

## ガイドマップ作成事業

「庄内まちあるき MAP」



「関之尾滝散策 MAP」



取組地区：庄内地区  
取組年度：平成 30 年度  
事業主体：庄内地区まちづくり協議会  
事業費：540,000 円（基金活用額：540,000 円）  
問い合わせ：37-3488

### 課題・取組みの概要

- 庄内町には都城島津家に関する史跡が多く、国の有形登録文化財に指定された建造物も多く存在する。また、関之尾滝を中心として、周辺に見どころも多く散策に適している。
- 「庄内の昔を語る会」「関之尾むかえびとの会」と協働して「庄内まちあるき MAP」と「関之尾滝散策 MAP」を作成。観光客や来訪者に提供することで庄内町の魅力を発信する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 「庄内まちあるき MAP」5,000 部、「関之尾滝散策 MAP」5,000 部を作成し、観光ガイド時に使用したり、公民館や「滝の駅せきのお」などで観光客等に提供したりした。
- 地域の見どころを分かりやすく示すことで、まちあるきやウォーキングを楽しむ人が増えた。
- A3 サイズの MAP を、持ち歩きやすい大きさに折りたたむことで、コンパクトにした。

### 今後の課題・アドバイス等

- 地域の魅力を発信するために、継続した取り組みが必要である。

## あじさい公園等城展示パネル製作事業



取組地区：山之口地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：山之口地区まちづくり協議会  
事業費：114,070円（基金活用額：114,000円）  
問い合わせ：57-3114

### 課題・取組みの概要

- 山之口あじさい公園のPR用パネルを新しく作成した。
- 松尾城の発掘調査資料等の整備を行った。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- あじさい公園展望台に、公園の四季風景や松尾城の発掘調査資料のパネルを制作、展示した。

### 今後の課題・アドバイス等

- 展示パネルの管理を行う必要がある。

## 観音瀬PR事業



取組地区：高城地区  
取組年度：平成 30 年度  
事業主体：観音瀬保存会  
事業費：353,336 円（基金活用額：353,000 円）  
問い合わせ：59-9087

### 課題・取組みの概要

○地域活性化を目的に観音瀬を文化財として広く PR し、散策や視察等を増やすために観音瀬周辺の草刈や啓発用のぼり旗・看板の設置、ドローンによる動画を作成した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

○観音瀬保存会では、定期的に周辺の清掃を実施しており、集落のコミュニケーションづくりの場となっている。また、来客者も少しずつ増加している状況である。

### 今後の課題・アドバイス等

○人口流出、過疎化と高齢化が進み、清掃等の作業人数が不足しているが、観音瀬が地域の財産であることを認識し活動している。

## 高城地区まちづくり委員会地域活性化活動推進事業



取組地区：高城地区

取組年度：令和2年度

事業主体：高城地区まちづくり委員会

事業費：950,400円（基金活用額：832,000円）

問合わせ：58-2311（高城地域振興課）

### 課題・取組みの概要

○コロナ禍や過疎化の進行で地域の活力が衰退する中、地域住民の郷土愛の醸成や観光PRのために、高城の自然や観光スポットを3D動画撮影し、イベントでの3D映像体験やSNSで発信していく事業を展開する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

○VRゴーグルを整備し、高城地区の観光名所や四季折々の風景をドローンで撮影し、3D動画を製作した。VRゴーグルでバーチャル映像を体験し、ふるさとの美しさを再認識してもらい、郷土愛を深めてもらった。

### 今後の課題・アドバイス等

○VRゴーグルで使用するバーチャル映像は、同じ映像を続けることなく定期的に更新していく。

## 自然遺産掲示板設置事業



取組地区：山田地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：山田地区まちづくり協議会  
事業費：744,240円（基金活用額：744,240円）  
問い合わせ：64-1121

### 課題・取組みの概要

- 山田地区には、貴重な自然遺産があるが、市内外にあまり周知されていない。
- 自然遺産等の掲示板を設置し、市内外に周知することにより地域の活性化に繋げる。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 自然遺産に近い県道沿いの敷地に、掲示板を設置した。
- 県道敷地内に設置したため、県との細かい調整が必要であった。

### 今後の課題・アドバイス等

- 掲示板の清掃や周辺の草取り等、設置後の定期的な維持管理が必要である。

## ほたるの里拡大事業



取組地区：高崎地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：高崎地区まちづくり協議会  
事業費：158,500円（基金活用額：158,500円）  
問い合わせ：62-1111（内線211）

### 課題・取組みの概要

- 東霧島神社参拝道路の一部で細々と生息しているホタルを、より拡大させるためにホタルの生育のための環境づくり等を専門家に学びながら近辺の小川や耕作放棄田を整備し、「人・水・生物の共同体」としての自然環境を保全することを目的とする。
- ・ホタル生息地川岸の環境整備
- ・ホタルの一生についての看板制作
- ・ホタル生息地での観察用にベンチを制作
- ・ホタルについて、専門家を招き、学習会を高崎小学校の5年生対象に学習会実施

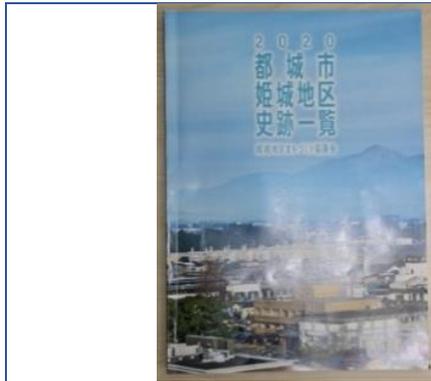
### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 道路脇のホタルが生息する小川の整備を行い、ホタルの生息環境と、ホタルを観察する環境を整備した。
- ホタルの一生を描いたパネルを制作した。また、木製ベンチなど、ゆっくりホタルの観察ができる環境を整えた。
- 高崎小学校5年生の授業として、宮崎県環境情報センターから専門家を招いて、ホタルについて学習会を開き、詳しく学ぶことができた。

### 今後の課題・アドバイス等

- ホタルの生息を持続させるために、継続的な環境整備事業が必要である。
- 他の生息地の掘り起こしを行い、同様の環境整備を行う。

## 姫城地区史跡等写真集作成事業



取組地区：姫城地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：姫城地区まちづくり協議会  
事業費：1,468,800円（基金活用額：1,468,800円）  
問い合わせ：46-2603

### 課題・取組みの概要

- 地区内には、都城市の誕生にかかわる数多くの史跡等が残存。しかしながら、その存在を知らない地区住民、市民が多数存在している。
- 私有地内の史跡（石柱など）のうち、知らされずに撤去されているものがあった。
- 地区内の史跡等を写真集にまとめ、学校教材として活用してもらうほか、地区内の各家庭に配付し地区住民の郷土愛を醸成することを目的として作成した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 約40か所の史跡、案内板、史跡標柱等をA4版、オールカラーの写真集としてまとめた。
- 各史跡等の位置図及び由来等説明書きを加え、史跡への知見を広められるよう工夫した。
- 地区内の史跡等を記録として残すことができた。
- 写真集を基に、史跡巡りをしたとの声も寄せられた。

### 今後の課題・アドバイス等

- 史跡の由来等に関する説明書きを巻末に記したが、各史跡写真と同じページに、位置図と説明書きが入った方が見やすくなる。
- 市民から写真集がほしいとの問い合わせがあった。

## 都城島津灯ろう祭り賑わい創出事業



取組地区：姫城地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：姫城地区まちづくり協議会  
事業費：3,533,592円（基金活用額：3,522,006円）  
問い合わせ：46-2603

### 課題・取組みの概要

- 「新しい観光資源を創設し、地域を盛り上げることが出来ないかという」意見があったことから、夏の風物詩「六月灯」と「都城島津の歴史」という姫城地区の地域資源を磨き上げ、「灯ろうまつり」を計画した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 都城島津家に縁のある旭丘神社の六月灯（7月28日）に合わせて開催することで、効率よく集客を図った。
- 「子ども灯ろうコンテスト」を実施。点灯式で優秀作品の表彰を行うとともに、応募作品全て（100基）も展示した。
- 都城島津家の歴史を時系列で理解できるよう、29基の灯ろうを会場である旭丘神社の神社鳥居から社殿にかけ配置した。

### 今後の課題・アドバイス等

- 毎年同じ灯ろうを展示しても来客者を増やすことができないため、新作を交えながら展示する必要がある。
- 初回は告知が足りなかったため、積極的な広報が必要である。

## 姫城地区地域資源活用事業



取組地区：姫城地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：姫城地区まちづくり協議会  
事業費：1,624,200円（基金活用額：1,575,000円）  
問い合わせ：46-2603

### 課題・取組みの概要

- 令和元年度から始まった「都城島津灯ろうまつり」を更に洗練されたものにするためには、観覧者が飽きないように、毎年、内容の異なる灯ろうの展示が必要であるため、差替え用の灯ろうも準備することになった。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 新たに製作した灯ろうと、制作済みの灯ろうを交互に展示する。
- PR用看板も作製したことで、各種イベント等で灯ろうまつり開催の告知が行えるようになった。
- コロナ禍で灯ろうまつりが中止になったため、図書館や国文祭・芸文祭のイベント会場での展示を行った。

### 今後の課題・アドバイス等

- 制作した灯ろうの保管場所（倉庫）を確保する必要がある。  
※姫城地区は、中央公民館の倉庫を生涯学習課より借用している。
- 今回、予備の灯ろうを準備できたが、新しい灯ろうを数年間隔で制作する必要がある。
- 第1回の灯ろうまつりは知名度が低く広報期間も短かったことから、祭りの開催を知らなかった観覧客がほとんどであった。観覧者を増やすためには、事前の広報活動に力を入れる必要がある。

## ふるさと再発見事業



取組地区：小松原地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：小松原地区まちづくり協議会  
事業費：471,583円（基金活用額：380,000円）  
問い合わせ：24-1900

### 課題・取組みの概要

○地域内の歴史資源は豊富にあるが、住民に周知されていないのが実情である。そこで、自治公民館で史跡や歴史的建造物の調査を行い、史跡マップを作成し、それをもとに案内板を地区公民館に設置する。また、ウォーキング大会を開催し、地域に対する誇りと愛着を高めていく。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

○身近にあるがゆえに、逆にその重要性が理解されにくいのが、地域の歴史を残す史跡である。今回は、専門家に委託するのではなく、自治公民館に調査を依頼した。地域を見直すきっかけともなり、住民の意識を高めることができた。

### 今後の課題・アドバイス等

○住民への周知を図るため、ウォーキング大会を毎年行うこととしていたが、新型コロナウイルス感染拡大の影響により、2年連続で中止となった。  
○住民への周知が課題であり、繰り返し調査を行い、新たな発見を期待したい。

## 祝吉地区歴史探訪マップ活用事業



取組地区：祝吉地区

取組年度：平成 29 年度

事業主体：祝吉地区まちづくり協議会

事業費：204,120 円（基金活用額：204,120 円）

問合わせ：23-2890（祝吉地区公民館）

### 課題・取組みの概要

- 課題：地区内に多くの史跡等が点在しているが、住民に十分理解されていなかった。
- 概要：平成 26 年に作成した祝吉地区歴史探訪マップに記載された史跡等に案内看板を設置しマップ活用を促進した。
- 毎年 2 月にマップを活用したウォーキング大会を実施する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 成果：マップに掲載された史跡等の由来等を記述した案内板を設置したことにより見学者の理解度を高めることができる。
- 工夫した点：事業費圧縮のため、ウォーキング大会開催時は、参加費を徴収した。
- ※道路使用許可（警察署）、河川使用許可（河川国道事務所）など申請が必要である。

### 今後の課題・アドバイス等

- 今後の事業継続の方向性：毎年実施を検討する。
- 今後、解消すべき点
  - ・ 荒天時の開催についての判断基準の検討が必要である。
  - ・ ウォーキング大会開催時は、多くの参加者が移動するため安全面への配慮が必要である。

## 祝吉地区歴史探訪マップ活用事業



取組地区：祝吉地区  
取組年度：平成 30 年度  
事業主体：祝吉地区まちづくり協議会  
事業費：115,560 円（基金活用額：115,560 円）  
問合わせ：23-2890（祝吉地区公民館）

### 課題・取組みの概要

- 祝吉地区には多くの遺跡や歴史的史跡が点在しているが、住民周知が十分でなかった。
- 祝吉地区歴史探訪マップ千部を作成し、地区内の小学校へ配布し総合学習等の教材として活用を依頼した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 地区内に点在する遺跡や史跡について、わかりやすい表現とするよう工夫した。
- 各学校の総合学習の教材として活用することより、理解度を高めた。

### 今後の課題・アドバイス等

- 更新方針：毎年小学 3 年生に配布。残りは学校で保管を依頼した。
- 総合学習の教材とするため、学校の理解が必要である。

## 祝吉地区歴史探訪マップ活用事業



取組地区：祝吉地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：祝吉地区まちづくり協議会  
事業費：272,074円（基金活用額：254,386円）  
問合わせ：23-2890（祝吉地区公民館）

### 課題・取組みの概要

- 歴史探訪マップに掲載された史跡等の場所の問い合わせがあった。
- 地区公民館駐車場内に歴史探訪マップの大型看板を設置した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 歴史探訪マップに記載された史跡等の位置関係が分かりやすいように表記した。
- ウォーキング大会開催時のコース説明に利用できる。
- 公民館利用者が、空き時間に看板を見ることにより史跡の存在を啓発することができる。

### 今後の課題・アドバイス等

- 効果的な啓発をするため史跡めぐり案内ボランティアの育成が必要である。

## 地域の歴史を伝承する事業



取組地区：横市地区

取組年度：令和元年度

事業主体：横市地区まちづくり協議会

事業費：1,212,000円（基金活用額：1,212,000円）

問い合わせ：25-2257

### 課題・取組みの概要

- 横市に住んでいる人でも、横市の名所の認知度が低かった。
- 他地区に横市地区を紹介する行事がなかった。
- 「横市マップ」の見直しを行い、改訂版を発行する。
- 史跡等の案内板を設置する。
- 「横市ウォーク」を実施するために必要な備品（ワイヤレスアンプ）を整備する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 横市マップ増補改訂版は、公民館加入全世帯・自治会加入世帯、教育福祉施設等に配布し、地域住民や子ども達の郷土愛を醸成している。
- 史跡等案内板は、横市ウォーク等に活用して地域の歴史を伝承している。
- ワイヤレスアンプは高齢者ふれあい事業や横市ウォーク等の野外イベントに活用している。また、地域内の関係団体に貸し出しを行うことで、地域活性化に役立っている。

### 今後の課題・アドバイス等

- 横市ウォークは継続して実施してきた。
- 横市ウォークを今後も実施するためには、地域の歴史を説明できる「語り部」の育成が必要となっている。

## 「志和池の宝」ポスター作成事業



取組地区：志和池地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：志和池地区まちづくり協議会  
事業費：181,500円（基金活用額：180,000円）  
問い合わせ：36-0519

### 課題・取組みの概要

- 「志和池の宝」ポスターは、平成16年3月に作成されて以降、現状に添わない施設や写真が見受けられるようになった。
- 「志和池の宝」を次世代に伝承していくため、地区の文化芸術や神社・仏閣、史跡を再調査するため、検討会を設置するとともに、ポスターを製作した。
- 1,000枚作成し、小中学校PTA、保育所、各自治公民館、各民主団体組織等に配布を行った。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- ポスターのQRコードを読み取ることで、スマートフォンでも、都城市のみやこんじょPR課・文化財課ホームページに容易にアクセスし、志和池の文化財を手軽に動画で観ることができるようにした。
- ポスターにQRコードを取り入れたことで、中高生にも関心を持たせることにつながり、好評を得ている。

### 今後の課題・アドバイス等

- ポスターを一度観て終わりではなく、新しい発見や地域の伝統文化を再認識することにより、新たな取り組みに繋げる工夫が必要である。

## 郷土誌「庄内」書籍電子化事業

DVD1枚に24冊分を収納



パソコンでPDFを表示したところ



取組地区：庄内地区  
取組年度：平成30年度  
事業主体：庄内地区まちづくり協議会  
事業費：364,979円（基金活用額：357,000円）  
問い合わせ：37-3488

### 課題・取組みの概要

- 郷土誌「庄内」は、平成元年に創刊以来版を重ね、地域の歴史や史跡研究、記憶に残すべき話、写真など貴重な資料が満載されている。
- この貴重な資料を電子化し、保存・検索・閲覧等を可能にする。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 郷土誌「庄内」を始めとする計24冊の書籍をPDF形式で電子化。パソコンで検索・閲覧等が簡単にできるようになった。
- 小中学校の郷土歴史授業のほか観光客ガイドに対し、電子書籍を活用した取り組みを行った。
- 県立・市立図書館及び関係団体に寄贈し、希望者に実費程度で提供した。また、まちづくり協議会のHPにも電子書籍を掲載した。

### 今後の課題・アドバイス等

- 記憶に残すべき貴重な資料は、PDF形式の電子書籍にしておくことで、簡単に検索・閲覧等でき、後世に継承することができる。

## 中郷地区の歴史 DVD 作成事業



取組地区：中郷地区  
取組年度：平成 30 年度  
事業主体：中郷地区まちづくり協議会  
事業費：1,998,000 円（基金活用額：1,900,000 円）  
問い合わせ：39-0713

### 課題・取組みの概要

- 地域行事や民族芸能等に関する後継者の減少が著しい。
- 中郷地区の歴史（文化・自然・暮らし等）をまとめた DVD を作成し、次世代への継承を図る。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 小中学校及び各種団体に配布し、地区の歴史・文化を学ぶ機会の提供を図る。
- 地域の行事、学校の行事、郷土芸能等に分類後、春夏秋冬、季節ごとにまとめた。
- 行事・芸能等、総合的に記録した媒体であることから、後継者育成にも役立つ。

### 今後の課題・アドバイス等

- 定期的な試写会を実施することにより、DVD の利活用を促す。
- 近年、地域の歴史や文化について伝承できる人が少なくなっている。

## 六ヶ村城跡周辺整備事業



整備前



整備後

取組地区：中郷地区

取組年度：平成 30 年度

事業主体：中郷まちづくり協議会

事業費：2,089,600 円（基金活用額：2,033,600 円）

問合わせ：39-0713

### 課題・取組みの概要

- 六ヶ村城跡展望台への遊歩道が倒木や路肩崩壊等により通行できない状況である。
- 散策道として再整備し、多くの市民が親しむことのできる場とする。
- 案内板の設置も行う。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 展望台周辺の整備を行ない野鳥観察、森林浴を楽しむ市民が増加した。
- 遊歩道整備後の維持管理を地元壮青年へ依頼した。
- 案内板により集客効果増を期待する。

### 今後の課題・アドバイス等

- 山林に囲まれているため、風雨に脆弱で定期的な管理が必要である。
- 周りの木々の成長に伴い、展望台からの眺望の悪化が懸念される。
- ウォーキング大会を開催し、地域の活性化に繋げていく。
- 県・市への協議、許可申請を要する（公共広告物表示・設置協議等）。

## 梅の植栽整備事業



取組地区：中郷地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：中郷地区まちづくり協議会  
事業費：77,000円（基金活用額：77,000円）  
問い合わせ：39-0713

### 課題・取組みの概要

- 新元号「令和」の由来は、万葉集の「梅花の歌」である。中郷地区の梅北という地名は、梅に由来すると伝えられており、令和元年度の節目の年に梅の植栽を行い、地名の由来を地域の方々に再認識していただくとともに、子供たちにも周知を図り、郷土愛を育む一助とする。
- 植栽箇所を梅北小学校、安久小学校及び神柱宮があった黒尾神社で実施した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 由来を記した記念碑を次年度に設置計画である。
- 小学生は、梅の実の収穫、そして加工し食することで食育にも貢献した。

### 今後の課題・アドバイス等

- 植栽後、害虫駆除と剪定作業が生じるため、費用負担が発生する。
- 植栽後の維持管理について、確認書を4者で取り交わす（市・まち協・PTA・学校）。

## 総合案内板整備事業



取組地区：中郷地区

取組年度：令和元年度

事業主体：中郷地区まちづくり協議会

事業費：1,025,200円（基金活用額：1,025,000円）

問合わせ：39-0713

### 課題・取組みの概要

- まちを散策する上で、手掛かりになる案内板が不足している。
- 中郷地区の名所・旧跡を記した案内板を4箇所設置した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 地域の子供たちが見て訪れたりすることで、地域に誇りを持ち郷土愛を育む一因となる。
- 多くの市民の目に触れるよう設置箇所を厳選し、散策マップとして活用できる。

### 今後の課題・アドバイス等

- 人の溜り場に設置することが、より高い効果が得られる。
- 設置箇所により市への占用許可申請を要する。

## 記念碑設置事業



取組地区：中郷地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：中郷地区まちづくり協議会  
事業費：357,500円（基金活用額：357,000円）  
問い合わせ：39-0713

### 課題・取組みの概要

- 令和元年度に、中郷地区の梅北という地名に由来する梅の木の植栽を行った。
- 令和2年度は、由来を記した記念碑を梅北小学校へ設置し、後世に継承するものである。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 梅の木を植栽し、地名のいわれを記した記念碑の製作・設置をすることで、子供たちへの郷土愛を育むより強いメッセージとなる。

### 今後の課題・アドバイス等

- 記念碑が隠れないよう周辺木々の剪定を定期的に行う。

## 史跡ネットワーク化事業



取組地区：山之口地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：山之口地区まちづくり協議会  
事業費：242,000 円（基金活用額：242,000 円）  
問合わせ： 57-3114

### 課題・取組みの概要

- 校外学習や生涯学習ならびに観光案内に寄与する。
- 住民の史跡等に関する認知度が低い。
- 山之口地区まちづくり協議会ホームページで紹介している史跡と現地史跡とリンクし案内を行う。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 山之口地区まちづくり協議会ホームページで紹介している史跡と現地史跡とリンクさせ案内するため、設置してある史跡案看板等に取り付ける IC タグの製作を行い、スマートフォンで検索閲覧ができるように行った。

### 今後の課題・アドバイス等

- 史跡等の適切な管理が継続的に必要である。

## 「石川理紀之助」交流事業



取組地区：山田地区

取組年度：平成 30 年度・令和元年度

事業主体：山田地域づくり推進協議会

事業費：1,406,000 円（基金活用額：1,300,000 円）

問合わせ：64-2105

### 課題・取組みの概要

- 石川理紀之助は明治期に秋田から谷頭村（現在の都城市山田町谷頭）に赴き、農業や生活の指導をした山田町の恩人である。
- この「石川理紀之助の考え方」を教育に生かすため、山田中学校の生徒や地域の関係者が、石川理紀之助の地元である秋田県潟上市の中学校区の生徒や地域の人たちと、隔年ごとに訪問し交流を行った。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 交流を通して、自分の住んでいる地域への関心を高め、郷土愛や地域での自分の役割を考えるきっかけとなった。
- 生徒が参加するため、実施時期が夏休み等の期間に限定されることや交流内容等、訪問先との細やかな調整が必要であった。
- 県外との訪問による交流のため、新型コロナ感染予防のため事業を中止せざるを得ない状況があった。

### 今後の課題・アドバイス等

- 平成 26 年に事業を開始しているが、今後の事業継続に当たっては、一部自主財源の確保も視野に入れながら、実施方法等の検討を行う時期に来ている。

## ふるさと探訪マップ発行事業



取組地区：山田地区

取組年度：令和2年度

事業主体：山田地区まちづくり協議会

事業費：422,000円（基金活用額：420,000円）

問い合わせ：64-1121

### 課題・取組みの概要

- 山田地区には、都城島津氏発祥の地である「薩摩迫館跡」や桜島の大噴火による「しまうつりの碑」など祖先から伝承された文化財や史跡が多く残されている。
- 近年、これらの文化財等を学ぶ機会や思いも薄れ、保存も危惧されている。
- これらの文化財等を一つにまとめた冊子「ふるさと探訪マップ」を作成し、地域の文化財等の再認識を図った。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 地区内の文化財等を探訪できるよう、地図形式で作成した。
- 新聞等で市内外に広く周知した結果、県内各地から多くの問い合わせがあり、これをきっかけに山田地区に訪れていただいた。

### 今後の課題・アドバイス等

- まちづくり協議会の中に実行委員会を組織し制作に当たったが、現地調査や資料収集等綿密な作業が必要であった。

## 「たかざきマップ」リニューアル事業



取組地区：高崎地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：高崎地区まちづくり協議会  
事業費：476,058円（基金活用額：476,058円）  
問合わせ：62-1111（内線211）

### 課題・取組みの概要

- 平成29年3月、高崎地区まちづくり協議会を中心とした各種地域団体が主体となって開催する高崎地区の各種イベント及び地域内の施設や史跡・文化財等を掲載した「たかざきマップ」を発行した
- 発行から3年が経過し、リニューアルの必要が生じた。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 地域の文化資源等をスマートフォンなどで検索閲覧ができるよう、QRコードを「たかざきマップ」に掲載。高崎地区まちづくり協議会ホームページとリンクさせることにより、ホームページの閲覧を促す工夫をした。
- 規格（A3 三つ折り カラー刷）

### 今後の課題・アドバイス等

- 記載内容の定期的な検証、更新が必要である。
- 費用対効果を高めるため、配布先や配布方法を十分に検討する必要がある。（町内各戸配布、市内外各施設等）

## たかざき施設案内パネル設置事業



取組地区：高崎地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：高崎地区まちづくり協議会  
事業費：549,472円（基金活用額：549,472円）  
問合わせ：62-1111（内線211）

### 課題・取組みの概要

- 地域内の各種施設（他施設や史跡、文化財など）を紹介する手段が少なかった。
- 施設案内パネルを、地域密着型施設である多目的研修集会施設等（6施設）及び市民広場（5施設）に常時設置することにより、子どもから大人まで幅広い年代に広く周知を図り、地域への愛着を深める。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- リーフレット「たかざきマップ」掲載の案内図と同じ内容とすることにより、マップに注目する機会をつくった。また、QRコードを掲載することで、まちづくり協議会ホームページへのアクセスを促すことも工夫した。

### 今後の課題・アドバイス等

- 内容更新が生じた際は、リーフレット「たかざきマップ」との整合性を図る必要がある。
- 各掲示場所は定期的に巡回し、破損等が生じた場合は、修繕の必要がある。
- 耐用年数（約4年）経過後の更新が必要となる。

## 今町俵おどり伝承事業



取組地区：五十市地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：今町俵おどり保存会  
事業費：215,949円（基金活用額：215,949円）  
問い合わせ：23-2184

### 課題・取組みの概要

○今町小学校の児童が継承してきた俵おどりを、大人を含めた校区内住民全体で継承していくため、会員募集と組織強化に努めるとともに、必要な道具（太鼓等）を整備する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 募集の結果、踊り手は少なかったが、楽屋（太鼓、三味線）のメンバーを確保できた。
- 会員募集について協力を得るため、今町地区の館長による協議を2回行ったものの、会員確保には至っていない。
- 当初は法被の作成を予定していたが、会員数が少ないため、計画を変更した。

### 今後の課題・アドバイス等

- 初年度に続き、2年目も事業継続を目指したが、コロナ禍により中止した。
- 伝承芸能の後継者の確保、育成については引き続き課題となっている。
- 備品管理・備品更新等の方針を決定する必要がある。
- 指導者の確保も必要である。

## 「安久節」モニュメント設置事業



取組地区：中郷地区

取組年度：平成 30 年度

事業主体：中郷地区まちづくり協議会

事業費：3,552,600 円（基金活用額：3,000,000 円）

問い合わせ：39-0713

### 課題・取組みの概要

- 伝統文化の継承を目的としている。
- 「安久節」の由来を記したモニュメントの製作・設置を行った。
- 旧都城市と中郷村の合併 50 周年の記念事業の計画である。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 市内外の方々に見ていただけるよう地区市民センター入口に設置した。
- 安久節とゆかりのある「原良おはら節保存会」(鹿児島市)との交流会を定期的実施した。

### 今後の課題・アドバイス等

- 安久節を含めた郷土芸能や伝統行事等の継承を行う手法・手段の確立が課題である。
- 毎年度、都城市と「市有財産（土地）使用貸借契約書」の締結を行う必要がある。

## 山之口弥五郎どん祭り保存伝承事業



取組地区：山之口地区  
取組年度：平成 30 年度  
事業主体：山之口弥五郎どん祭り保存会  
事業費：433,080 円（基金活用額：432,000 円）  
問い合わせ：57-3114

### 課題・取組みの概要

- 山之口弥五郎どん祭りは、先人から大切に保存、継承された貴重な伝統文化である。弥五郎どんの里に誇りを持ち、文化の香りのあるまちづくりを創造しながら祭りを後世に伝えるため、人材育成が必要となっている。
- 弥五郎どん祭りを周知・案内するのぼり旗が老朽化している。
- 伝統文化への理解を得る。
- 児童らが、「総合的学習・校外学習」で弥五郎どんの館に来館し、伝統文化の学びを深め得るため、解説ビデオを製作した。また、インターネットの動画サイトでも公開を行った。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 子どもから大人までどの世代にも分かりやすく、短時間で簡潔なビデオを製作した。
- 周知・案内のためのぼり旗の作製を行った。

### 今後の課題・アドバイス等

- のぼり旗は、経年劣化してくる再度の作製が必要になるため財源確保が課題である。
- 保存、継承していくことの重要性を、広く理解してもらおう。

# 郷土芸能デジタル化事業



取組地区：山之口地区  
 取組年度：平成 30 年度  
 事業主体：山之口地区まちづくり協議会  
 事業費：469,005 円（基金活用額：468,600 円）  
 問合わせ：57-3114

## 課題・取組みの概要

- 山之口地区には郷土芸能が多く残されているが少子高齢化・社会情勢の変化などにより存続が難しく、やむなく途絶えたり、休止状態のものがある。貴重な財産である郷土芸能を保存、伝承していく必要がある。
- モーションキャプチャーの技術で、郷土芸能をデジタル化し、山之口地区まちづくり協議会のホームページで情報、魅力を発信するとともに保存、伝承用としても活用を図る。

## 成果・事業の特徴・工夫したこと

- モーションキャプチャー方式による 3DCG 化を行い、地区の貴重な財産である郷土芸能を保存、伝承していくことに活用している。
- 山之口地区まちづくり協議会のホームページで広く情報を発信している。

## 今後の課題・アドバイス等

- 山之口地区まちづくり協議会のホームページを住民に広く PR することが必要である。
- また、保存、伝承していくことの重要性を理解してもらうための継続した取り組みが必要となる。

## 麓文弥節人形浄瑠璃 PR 事業



取組地区：山之口地区  
取組年度：平成 30 年度  
事業主体：麓文弥節人形浄瑠璃保存会  
事業費：634,500 円（基金活用額：634,000 円）  
問合わせ：57-3114

### 課題・取組みの概要

- 山之口麓文弥節人形浄瑠璃は現存する記録が少ないので、デジタル映像に記録、保存、収録し後世への継承活動及び後継者育成に資す。
- 伝統文化への理解を得る。
- 人形浄瑠璃講演を周知・案内するのぼり旗が老朽化している。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 山之口麓文弥節人形浄瑠璃紹介 DVD を作成し記録して伝承を行っており、紹介することにより伝統民俗文化への理解を深めている。
- 周知・案内のためのぼり旗の作製を行った。

### 今後の課題・アドバイス等

- のぼり旗は経年劣化するので、再度作製が必要となる。
- 「保存」「継承」していく事の重要性を広く理解していただく。

## 民俗文化財デジタル化事業



取組地区：山之口地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：山之口地区まちづくり協議会  
事業費：762,480円（基金活用額：762,000円）  
問い合わせ：57-3114

### 課題・取組みの概要

- 山之口町には国の重要無形民俗文化財の麓文弥節人形浄瑠璃、国選定の山之口弥五郎どん祭りが保存啓発活動を行っている。地域の伝統文化を守り継承する心を育て伝統文化を保存継承する必要がある。
- 弥五郎面のデジタル化、人形浄瑠璃はアニメーション化を行い三次元で可視化により民俗文化財を分かりやすく表現する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 人形浄瑠璃、弥五郎どんをデジタル化。浄瑠璃人形はアニメーション化を行い、三次元で分かりやすく表現し制作を行った。また、文化伝承につなげていくため弥五郎どんの面の型を制作した。
- デジタル化した民俗文化財は、山之口地区まちづくり協議会のホームページで広く情報を発信している。

### 今後の課題・アドバイス等

- 山之口地区まちづくり協議会のホームページを、住民に広くPRすることが重要である。

## 花木あげ馬保存伝承事業



取組地区：山之口地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：花木地区郷土芸能あげ馬保存会  
事業費：393,120円（基金活用額：393,300円）  
問合わせ：57-3114

### 課題・取組みの概要

- 花木地区郷土芸能あげ馬は現存する記録が少ないので、デジタル映像に記録、保存、収録し後世への継承活動及び後継者育成が必要である。
- 伝統文化への理解を得る。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 花木地区郷土芸能あげ馬記録 DVD&BD を作成し紹介することにより、伝統民俗文化の理解を深めている。

### 今後の課題・アドバイス等

- 4年毎の開催なので、指導者も高齢化が進んでいる。
- 保存、継承していく事の重要性を理解していただく。

## 民俗工芸品開発事業



取組地区：山之口地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：山之口地区まちづくり協議会  
事業費：453,200円（基金活用額：453,000円）  
問合わせ：57-3114

### 課題・取組みの概要

○山之口麓文弥節人形浄瑠璃、山之口弥五郎どん民俗文化財を工芸品として開発を行う。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

○人形浄瑠璃、弥五郎どんの三次元データを加工して民俗工芸品の試作・開発を行った。  
○作成したデータは山之口地区まちづくり協議会のホームページで情報発信を行っている。

### 今後の課題・アドバイス等

○山之口地区まちづくり協議会のホームページを住民に広くPRすることが必要である。

## 民俗文化財 PR ビデオ制作事業



取組地区：山之口地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：山之口地区まちづくり協議会  
事業費：418,000円（基金活用額：369,878円）  
問い合わせ：57-3114

### 課題・取組みの概要

- 住民の民俗文化財への認識を高めるため、プロモーションビデオを制作して、民俗文化財の奥深い魅力を発信する。
- 伝統文化を大切に保存伝承するとともに都城市のPRにつなげる。

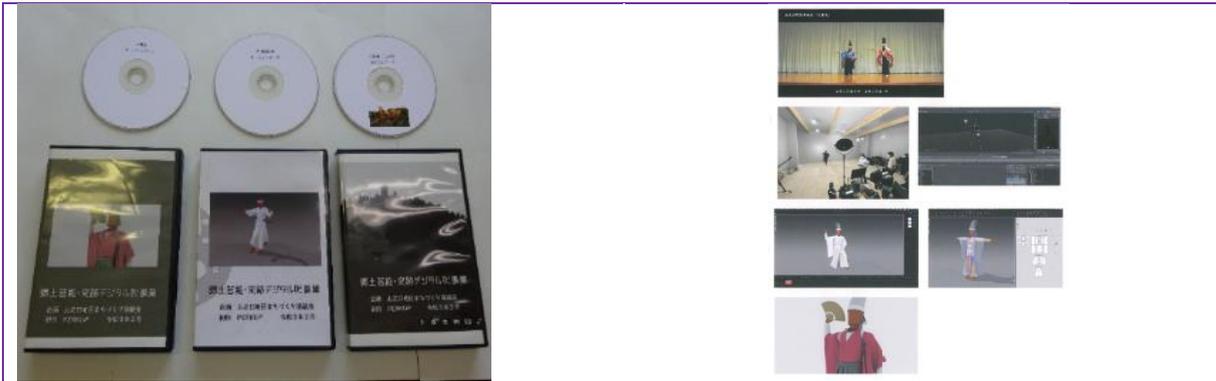
### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 人形のキャラクター化を実現し、インパクト効果の高いプロモーションビデオを制作できた。
- プロモーションビデオはホームページ、人形浄瑠璃資料館等で幅広くPR活動を行っていく。

### 今後の課題・アドバイス等

- 山之口地区まちづくり協議会のホームページを住民に広くPRすることが必要である。
- プロモーションビデオを有効に活用しPRを行うことが必要である。

## 郷土芸能・史跡デジタル化事業



取組地区：山之口地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：山之口地区まちづくり協議会  
事業費：858,000円（基金活用額：774,400円）  
問い合わせ：57-3114

### 課題・取組みの概要

- 長い歴史と豊かな自然の中で培われた貴重な郷土芸能が多くあるが、高齢化、生活様式の急激な変化で存続が難しく途絶えたものがある。
- 江戸時代に築城された松尾城は貴重な史跡であるが住民の認識が低い。
- 最新のICT技術により映像化を行う。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 郷土芸能を最新のICT技術であるモーションキャプチャシステムにより、六十田剣舞、三番叟の民俗芸能を3DCGと映像を組み合わせデジタル化を行った。
- 松尾城を3DCG化により可視化を図り、松尾城のデジタル化による再現を図った。
- 松尾城の再現画像はあじさい公園の展望台にパネル展示を行う。
- 山之口地区まちづくり協議会のホームページに掲載した。

### 今後の課題・アドバイス等

- 山之口地区まちづくり協議会のホームページを住民に広くPRすることが必要である。

## 下富吉郷土芸能保存伝承事業



取組地区：山之口地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：下富吉郷土芸能保存会  
事業費：297,000円（基金活用額：297,000円）  
問い合わせ：57-3114

### 課題・取組みの概要

- 下富吉郷土芸能保存会は、「そば切り踊り」、「奴踊り」の郷土芸能を保存伝承している。しかしながら、保存会員の高齢化が進んでおり後継者育成と会員を増やし活動の充実、継承が必要である。
- 今後、保存会の活動の充実を図りながら三味線一式を購入し演奏者の後継者育成を行う。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 三味線等の購入を行ったことで、練習が可能になった。

### 今後の課題・アドバイス等

- 三味線の演奏者の後継者育成、保存会員を増やすことが急務である。

## 高崎民俗芸能保存活性化事業



取組地区：高崎地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：高崎町民俗芸能保存交流会  
事業費：411,696円（基金活用額：411,696円）  
問い合わせ：62-1111

### 課題・取組みの概要

- 高崎地区では、「俵踊り」や「棒踊り」などの多くの拍子や踊りが民俗芸能として伝わっている。
- 10保存会が様々な祭り等で活動を行っているが、後継者不足が課題となっており、存続が危機に瀕している。
- このため、新たな後継者を養成し、永続的な活動を促すため、必要な道具を整備するに至った。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 道具整備により、活動が続いている人（会員）には意欲が湧き、今後の活動に拍車がかかる。
- また、整備後に保存会に加入した人も、これから活動していくという士気が高まっている。

### 今後の課題・アドバイス等

- 芸術文化の永続的な継承を目的に、様々なイベントで活動を披露し、多くの人に新たな魅力を発見してもらう。
- 継続した会員確保の取り組みが必要である。
- 会員の確保と同時に、指導者の養成が必要である。

## まちづくり協議会 PR 施策事業



取組地区：妻ヶ丘地区  
取組年度：平成 30 年度  
事業主体：妻ヶ丘地区まちづくり協議会  
事業費：298,620 円（基金活用額：298,620 円）  
問合わせ：23-8592

### 課題・取組みの概要

○妻ヶ丘まち協の認知度が低いので、活動内容を知ってもらい、イベントの参加者を増やしたいとの声があった。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 妻ヶ丘まち協のキャッチフレーズやロゴマークをプリントしたのぼりを作製し、自治公民館、地区公民館に掲げることで、イベント参加者の連帯感が高まり、雰囲気作りに役立っている。また、まち協の認知度向上に大いに貢献できた。
- まち協の年間行事の写真を掲載したカレンダーを作製し、各世帯、学校、商店等に配布したことで、まち協の PR になった。

### 今後の課題・アドバイス等

- のぼりの劣化が進むので、追加で作製が必要である。
- カレンダーは一年限りなので、継続した PR の方法を探す必要がある。

## シンボルマーク等普及促進事業



取組地区：妻ヶ丘地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：妻ヶ丘地区まちづくり協議会  
事業費：101,200円（基金活用額：100,000円）  
問い合わせ：23-8592

### 課題・取組みの概要

○妻ヶ丘地区まちづくり協議会では、シンボルマークやイメージキャラクターを有しているが、一般に浸透していない。このため、額に入れたものを地区公民館、自治公民館に掲示し、まちづくり協議会のイメージを高揚させ、地域の活性化を図る。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

○シンボルマーク、イメージキャラクターの存在とそれが出来上がった経緯を地域住民に知ってもらうことにより、まち協に対して親近感を持ってもらえるようになったと感じる。

### 今後の課題・アドバイス等

○額や横断幕以外の方法でも、地域に浸透させていく努力が必要である。

## 祝吉地区まちづくり協議会活動充実事業



取組地区：祝吉地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：祝吉地区まちづくり協議会  
事業費：1,155,000円（基金活用額：1,155,000円）  
問合わせ：23-2890（祝吉地区公民館）

### 課題・取組みの概要

- 屋外でイベント等を実施する場合の音響機器は地区公民館のものを借用していたが、機器の老朽化により十分な活動ができない。
- ポータブルアンプ1台を購入、併せてワイヤレスチューナーを増設し、マイク3本が使用できる環境を整え、活動環境の充実を図る。
- 活動の充実の伴い、備品数も増え保管場所が不足している。
- 備品の保管場所として地区公民館駐車場内に備品倉庫1棟を設置する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 標準装備のワイヤレスチューナー1基に加え、チューナー2基を増設しマイク3本が使用できる環境を整えた。
- 備品の保管場所を確保するため、地区公民館駐車場東側に保管倉庫を設置した。保管場所を確保することによりイベント開催時の準備の効率化を図ることができる。

### 今後の課題・アドバイス等

- 地区公民館敷地内に保管倉庫を設置しているため、毎年、目的外使用申請が必要である。

## 自治公民館魅力向上事業



取組地区：五十市地区  
取組年度：平成 30 年度  
事業主体：五十市地区まちづくり協議会  
事業費：3,511,015 円（基金活用額：3,511,015 円）  
問い合わせ：23-2184

### 課題・取組みの概要

- 県や市等から DVD 等が自治公民館に配布されても、再生環境のない自治公民館が多かった。
- 配布物等の活用に加え、各自治公民館が実施する各世代に応じた事業を、より効果的かつ魅力的に展開するツールとして、大型テレビと DVD プレーヤーを整備した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 総会や敬老会等で活用する自治公民館が多くみられ、新たに「こけないからだづくり講座」を始める館（3 館）があった。また DVD を独自に作成し他館へ配布した事例もあった。
- 機器はまちづくり協議会の所有とし、各館に無償で貸与した。
- 年度末の館長会で、利用の実績報告や情報交換等を行い、活用を促している。
- 市立図書館の貸し出しカードを準備し、各館が図書館の DVD 等を活用できるようにした。

### 今後の課題・アドバイス等

- 耐用年数（5 年）を経過した後は、各自治公民館に所有権を移譲する。

## 新まちづくり計画策定事業



取組地区：五十市地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：五十市地区まちづくり協議会  
事業費：711,127円（基金活用額：711,000円）  
問合わせ：23-2184

### 課題・取組みの概要

- 協議会設立を機に策定した「まちづくり計画」が令和2年度に計画期間満了を迎えることから、新しい計画づくりに取り組むことになった。
- 計画づくりに伴い、印刷機の購入やのぼり旗の新調等を行い、計画の周知等に努めた。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 専門部会（地域づくり部会、青少年部会、環境・防犯部会、健康福祉部会）ごとに、新しい事業計画案を作ることができた。
- キャッチフレーズは、専門部会ごとに、募集から決定、表彰に至るまで五十市中学校の協力で完成させることができた。

### 今後の課題・アドバイス等

- 前回計画と同様に事業計画案は、①すぐに取り組む事業、②3年後までに取り組む事業、③5年後までに取り組む事業の3種類に分けて作成した。

## 横市地区まちづくり協議会活動充実事業



取組地区：横市地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：横市地区まちづくり協議会  
事業費：658,500円（基金活用額：547,000円）  
問合わせ：25-2257

### 課題・取組みの概要

- 老朽化したのぼり旗、ポールを更新・拡充する。
- 創立10周年を迎えたことにより、記念誌を発行する。
- 横市地区まつりで不足していた椅子・テーブルを購入する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- のぼり旗が新しくなったことで、地域全体に活気がでてくることが期待される。
- まちづくり協議会創立10周年記念誌を発行することで、まち協への理解・協力を図っている。
- 高机、椅子を購入し、横市地区まつり他各事業で活用する。

### 今後の課題・アドバイス等

- のぼり旗や椅子・テーブルの更新に係る費用を計画する必要がある。

## 自治公民館活動充実事業



取組地区：横市地区

取組年度：令和2年度

事業主体：横市地区自治公民館連絡協議会

事業費：1,033,000円（基金活用額：1,033,000円）

問い合わせ：25-2257

### 課題・取組みの概要

- 自治公民館活動ではこれまで座机が主であったが、最近では、腰・膝の負担の少ない高机・イスを要望する声が多くなっていた。
- 折りたたみイス・折りたたみテーブルを購入した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 各自治公民館の規模や希望を基に備品を配付した。

### 今後の課題・アドバイス等

- 購入した備品は各自治公民館が管理する。

## 生きがいつくり事業



取組地区：志和池地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：志和池地区まちづくり協議会  
事業費：336,952円（基金活用額：336,952円）  
問い合わせ：36-0519

### 課題・取組みの概要

- 高齢者の生きがいつくりのため、生涯学習講座で使用する機材の整備が必要となった。
- 学習内容の充実に加え、学習へのきっかけづくりや仲間づくり、地域づくりへ発展していくことを目的にパソコン・プロジェクター・スクリーンを購入した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 地区内の公民館に市の出前講座や講師を招き、健康・福祉・人権・詐欺防止等の講座を開催した際に、放送機材を活用することにより理解が深まる。

### 今後の課題・アドバイス等

- 高齢者を対象としたものだけでなく、一般の方の講習会や研修会等にも有効活用していく必要がある。

## まちづくり環境整備事業



取組地区：志和池地区

取組年度：令和2年度

事業主体：志和池地区まちづくり協議会

事業費：2,431,000円（基金活用額：2,420,000円）

問い合わせ：36-0519

### 課題・取組みの概要

- まち協の備品は、志和池地区公民館の外部倉庫に収納していたが、地区公民館・市民センターの建設事業に伴い、倉庫が解体されることになった。
- 志和池地区公民館敷地内の一画に市の許可を取り、まち協のイベント開催に必要な備品等を収納できる倉庫（約12坪）を整備した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- これまで志和池地区公民館内に3ヶ所、志和池地区体育管内1ヶ所、志和池中学校倉庫1ヶ所に分散していたまち協の備品等を1ヶ所に収納できるようになった
- イベント開催時の出し入れや、備品の配置・管理が効率的に実施できるようになった。

### 今後の課題・アドバイス等

- 倉庫は、今後、収納物が多少増えても十分な広さを確保している。
- 収納スペースだけでなく、作業スペースも確保しておくとう便利である。

## ロゴマーク作成事業

完成したロゴマーク



庄内地区公民館国旗・市旗掲揚台



取組地区：庄内地区

取組年度：平成 30 年度

事業主体：庄内地区まちづくり協議会

事業費：410,760 円（基金活用額：408,000 円）

問い合わせ：37-3488

### 課題・取組みの概要

- 庄内地区の一体感を醸成するために、まちづくり協議会のロゴマークを作成。協議会旗や印刷物、その他で活用する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 庄内中学校生徒からロゴマークを公募し、優秀作を選定。原案をプロデザイナーに依頼し、ロゴマークを完成させる。ロゴマークを配した「庄内まちづくり協議会旗」を作成し、イベントや研修会の時に掲示した。
- 国旗・市旗に並べて、ロゴマーク入りの「まちづくり協議会旗」を掲揚し、地区に周知する。
- 躍動感のあるロゴマークは、多くの人に好感をもって受け入れられている。

### 今後の課題・アドバイス等

- 「まちづくり協議会旗」は常時掲揚しているため、経年劣化による交換時期の検討が必要である。

## 環境整備事業

倉庫完成写真



倉庫内部写真



取組地区：庄内地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：庄内地区まちづくり協議会  
事業費：4,758,000円（基金活用額：3,000,000円）  
問い合わせ：37-3488

### 課題・取組みの概要

○地域の活性化のためにまち協を中心として開催するイベントに必要な備品等を収納する倉庫を整備した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

○令和2年度に整備した防災対策備品についても、倉庫内に収納し台帳管理している。  
○大型の備品等も格納できるよう棚の高さを調整したり、出し入れしやすいよう階段も設置した。

### 今後の課題・アドバイス等

○整備した備品の定期的な確認・点検を行うための点検簿の整備が必要である。

## ハッピー作製事業

まちづくり協議会ハッピー



取組地区：庄内地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：庄内地区まちづくり協議会  
事業費：704,160円（基金活用額：704,000円）  
問い合わせ：37-3488

「心のプレゼント運動」ハッピー



### 課題・取組みの概要

- 平成30年度事業で庄内地区の一体感を醸成するために、まちづくり協議会のロゴマークを作成した。また、平成15年から地域をあげて「明るいあいさつ、ありがとう、人がよくなること」を進める「心のプレゼント運動」を実施している。
- まちづくり協議会のロゴマークを入れた法被100枚と「心のプレゼント運動」法被30枚を作成。イベント等や各学校行事に活用する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- まちづくり協議会主催のイベントや夏まつり等でスタッフが活用し、地区の一体感を醸成できた。
- 「心のプレゼント運動」の取り組みとして、庄内中学校生徒に20着貸与し、あいさつ運動等で活用している。また、社会福祉協議会に10着貸与し、介護者のつどい、座談会などで着用し、啓発に努めている。

### 今後の課題・アドバイス等

- コロナ禍で法被を活用する場面が少なかった。
- 経年劣化に備え、交換時期の検討が必要である。

## 西岳米を活用したまちづくり事業



取組地区：西岳地区

取組年度：令和元年度

事業主体：西岳地区まちづくり協議会

事業費：5,983,535 円（基金活用額：5,983,535 円）

問合わせ：33-2000

### 課題・取組みの概要

- 西岳地区は食料品や生活用品の販売店が極端に不足し、住民の日常生活に不便を来している。また、毎日食する米の精米所も例外でなく、数年前から1軒もない状況である。
- 精米直後の地元の美味しい「西岳米」を、地域の方々はもとより親戚、友人等の地域外の方々にも味わっていただく。
- 収穫したばかりの「西岳米」を精米。地区文化祭等で振る舞うなどして、地域にある良質な産品を再確認してもらい、地産地消を推奨しながら、地域の活性化を図る。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 事業費圧縮のため、複数社の見積りをとった。
- 使用実績を毎月管理。実績表作成のほか写真管理を行っている。
- 県外の親戚や友人等から、「西岳米は美味しい」との好評な意見を良く耳にするようになった。

### 今後の課題・アドバイス等

- ベルト更新、修理等のランニングコストが掛かり、農協と連携することで費用削減を図っている。
- 精米の際に出る粃殻、糠の搬出先や搬出手段を事前に検討しておく必要がある。

## 郷土愛育成事業



取組地区：中郷地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：中郷地区まちづくり協議会  
事業費：279,400円（基金活用額：279,000円）  
問い合わせ：39-0713

### 課題・取組みの概要

- 地区内の各団体は、視聴用機器をほとんど持っていないことから、平成30年度に作成した中郷地区の紹介DVDを活用できない状況がある。
- 視聴用機器（パソコン、プロジェクター、スクリーン）を購入し、地域の自治公民館や各種団体等への貸出を行う。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- DVDを多くの地域住民に見ていただくことで郷土愛の醸成に繋がった。
- 会議の手法の一つとして選択肢が増えた。（ペーパーレス化）
- 備品台帳で貸出等を管理している。

### 今後の課題・アドバイス等

- 電気製品は、耐用年数や修理用部品の保有年数が短いことから、更新時費用の積立が必要である。

# 未来へつなぐ山之口の情報発信事業



取組地区：山之口地区  
取組年度：平成30年度  
事業主体：山之口地区まちづくり協議会  
事業費：1,315,288円（基金活用額：1,313,000円）  
問合わせ：57-3114

## 課題・取組みの概要

- 自然や文化、産業、人材等の地域資源の魅力について、ICTを活用し、未来を担う世代へ積極的に情報を発信し人材育成を行う。
- 山之口地区の情報を発信するホームページを作成し、空撮写真・動画（地域の観光資源、防災情報）を交えイメージキャラクターを3D化して主催イベント、地域の魅力等の情報発信を行う。

## 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 山之口地区まちづくり協議会のホームページを開設することができた。
- ドローンを活用して空撮した動画等を掲載できた。
- 山之口イメージキャラクター3体の3D化を行った。
- まちづくり協議会において記事のアップロードを可能にした。

## 今後の課題・アドバイス等

- 定期的または、行事等PRのため必要に応じて更新を行う。

## 高城地区まち協ホームページ開設事業



取組地区：高城地区  
取組年度：平成 29 年度  
事業主体：高城地区まちづくり協議会  
事業費：278,316 円（基金活用額：269,000 円）  
問合わせ：58-2317（高城生涯学習センター）

### 課題・取組みの概要

○高城地区まちづくり協議会設立から 3 年目を迎え、高城地区の民主団体や学校等の活動や地域の魅力を発信するためにホームページを開設した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

○高城地区の歴史や文化、イベント等を紹介し、定期的にホームページを更新している。

### 今後の課題・アドバイス等

○今後は、集落の産業祭りや収穫祭などのイベント等を掲載していく。  
また、民主団体等の活動状況等についても掲載していく。

## まちづくり協議会活動充実事業



取組地区：高城地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：高城地区まちづくり協議会  
事業費：1,461,640円（基金活用額：1,461,000円）  
問合わせ：58-2317（高城生涯学習センター内）

### 課題・取組みの概要

- 高城地区の地域活性化を図る事業を推進していくために、まちづくり協議会の各種備品等を保管する倉庫の整備が必要であった。
- また、新型コロナウイルス感染症の拡大予防対策として、各地域の公民館に扇風機を整備する必要があった。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 倉庫を整備したことで、今後も新規事業を展開しながら備品等を整備し、適正に管理できるようになった。
- 新型コロナウイルス感染症の拡大は、先を見通せない状況であったが、各自治公民館に扇風機を整備し、地域住民が安全に会議等の公民館活動を行うことできるようになった。

### 今後の課題・アドバイス等

- 倉庫の広さは、10坪程度であり、計画的に備品の整備を行う必要がある。

## 山田地区広報誌発行事業



取組地区：山田地区  
取組年度：平成30年度～令和2年度  
事業主体：山田地区まちづくり協議会  
事業費：3,025,062円（基金活用額：2,993,869円）  
問い合わせ：64-1121

### 課題・取組みの概要

- 山田地区は高齢化率が高く、高齢者のみの世帯やひとり暮らしの高齢者も多く、情報が得られず孤立してしまう傾向がある。
- 地域の広報誌「山田いきいき通信」を毎月発行(2,800部)し、各自治公民館長の協力により毎月各戸配付している。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 地域の身近な出来事や話題を提供することにより、社会や地域の連帯を生む「絆」が創られている。
- まちづくり協議会内に広報誌編集委員会を組織し、製作している。
- イベントの告知や各種サークルの紹介等地域の情報を提供し、有効に活用されている。

### 今後の課題・アドバイス等

- 今後も継続して発行していくこととしているが、編集委員11名が月3回程度集まり、原稿作成、校正及び発送準備等を行っており、委員の負担も大きい。

## 町興し活動充実事業



取組地区：山田地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：山田地区まちづくり協議会  
事業費：208,010円（基金活用額：200,000円）  
問い合わせ：64-1121

### 課題・取組みの概要

- 活動時に着用する、スタッフベストを50着購入した。
- スタッフベストは、協議会発足当初作成した経緯があるが、欠損やその後の委員の増加に伴い、不足が生じていたため、再整備した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 活動時にそろいのベストを着用することにより、地域へのアピール効果や防犯効果が得られる。
- 会員の意識の向上にも繋がり、活動の促進を図るために必要なアイテムである。
- 欠損等を防ぐため、台帳や貸し出し簿を整備し管理している。

### 今後の課題・アドバイス等

- 各種イベントのほか、交通安全週間や児童生徒の登下校時の見守り啓発に発揮できる機会を増やさなければならない。

## まちづくり協議会活動充実事業



取組地区：山田地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：山田地区まちづくり協議会  
事業費：2,167,774円（基金活用額：2,000,000円）  
問合わせ：64-1121

### 課題・取組みの概要

- まちづくり協議会には専用の倉庫がなく、活動に支障をきたしていた。
- 倉庫2棟をまちづくり協議会事務局がある山田総合支所敷地内に設置した。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 事務局近辺に設置することにより、利便性がよくなり、作業効率がアップした。
- まちづくり協議会の活動拠点として、また会員が必要時に利用できるなど利用の幅が広がり、活動促進を図ることができている。
- 山田総合支所敷地内に設置したため、市と綿密な調整が必要であった。

### 今後の課題・アドバイス等

- 市の敷地内に設置したため、毎年、公有財産の土地使用賃貸契約の手続きが必要である。

## ホームページ開設事業



取組地区：高崎地区  
取組年度：令和元年度  
事業主体：高崎地区まちづくり協議会  
事業費：366,200円（基金活用額：366,200円）  
問合わせ：62-1111（内線211）

### 課題・取組みの概要

- 高崎地区まちづくり協議会の活動内容について、年2回広報紙（まち協だより）を作成して公民館に配布し周知しているが、住民への認知度が低い。
- 高崎地区自公連、体育協会等と連携して、活動の輪を広めているものの今後の更なる町内外へ情報発信を行う手段として、高崎地区まちづくり協議会のホームページを作成する。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- ホームページ等の管理・更新を、外部専門家へ委託を行うことで、担当者の異動に伴うスキル低下を防止した。
- 高崎地区まちづくり協議会発行の情報誌、施設設置している「たかぎきマップ」等にQRコードを掲載し、高崎地区まちづくり協議会ホームページへリンクしている。

### 今後の課題・アドバイス等

- 魅力あるホームページを維持する為に、他の団体等と連携し情報収集を行い随時、ホームページの内容更新を行う必要がある。

## 自治公民館連携強化事業



取組地区：高崎地区

取組年度：令和元年度～令和2年度

事業主体：高崎地区自治公民館連絡協議会

事業費：162,217円（基金活用額：162,217円）

問い合わせ：62-1111

### 課題・取組みの概要

- 高崎地区は、都城市内15地区の中で最も多い43自治公民館があり、公民館加入率は約8割に達している。
- しかし、高齢化時代に伴い加入世帯数も減少し、公民館運営は厳しさを増している。
- 地域の課題解決や公民館の活性化を図る必要があるため、勉強会として当該事業を実施することとなった。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 年5回の委員会や外部講師を招いての講演会・事例研修会、自治公民館長を対象としたアンケート調査等を実施した。
- 講演会をきっかけに、地域活性化のツールとして「フットパス事業」に取り組むこととなった。
- 委員会で高崎地区の現状と10年後について検証・協議を行い、課題の抽出と将来の方向性を導き出すことができた。

### 今後の課題・アドバイス等

- 委員会で検証・協議された内容を、地区住民に広く周知し、地域の活性化や公民館の統廃合などを考えるきっかけづくりを行っていく。

## 自治公民館連携地域対策事業



取組地区：高崎地区  
取組年度：令和2年度  
事業主体：高崎地区自治公民館連絡協議会  
事業費：260,470円（基金活用額：220,000円）  
問い合わせ：62-1111

### 課題・取組みの概要

- 高崎地区は、少子高齢化による人口減少が著しく、自治公民館組織の維持が困難な状況になりつつある。
- 高崎地区自治公民館統廃合特別委員会の講演会をきっかけに、地域のつながりを維持し、田園風景など既存の地域資源を掘り起し関係人口の増加が期待できる事業として、令和3年度から「フットパス事業」に取り組むこととなった。
- 令和3年度からの「フットパス事業」実施に向けて、地域の自治公民館相互の連携を図るとともに、「フットパス事業」への理解を深めることを目的として取り組むこととなった。

### 成果・事業の特徴・工夫したこと

- 地元検討委員を31名選出し、検討委員会を設立した。
- 北九州市立大学から講師を招いた勉強会や先進地への視察研修を実施し、「フットパス」への理解を深めた。

### 今後の課題・アドバイス等

- 「フットパス事業」実施に向けて、コースづくりに必要な地域資源の発掘や担い手の育成を行っていく。また、地域住民に「フットパス事業」への理解を広める活動を行っていく。

地区別年度別事業一覧

地区	実施年度	事業名	ページ
姫城	30	通学路安全推進事業	1
	31・R1	姫城地区史跡等写真集作成事業	85
		都城島津灯ろう祭り賑わい創出事業	86
	R2	子どもの見守り活動充実事業	2
		健康づくり世代間交流事業	19
		姫城地区健康増進事業	20
		姫城地区地域資源活用事業	87
小松原	29	移動式舞台及びパネル購入事業	40
	31・R1	ふるさと再発見事業	88
		こけない体操支援事業	21
	R2	健康増進事業	22
妻ヶ丘	30	ふれあいまつり活性化事業①	41
		いきいき健康増進事業①	23
		まちづくり協議会PR施策事業	117
	31・R1	ふれあいまつり活性化事業②	42
		いきいき健康増進事業②	24
		シンボルマーク等普及促進事業	118
祝吉	29	早水あやめまつり活性化事業	43
		祝吉地区歴史探訪マップ活用事業	89
		子ども会育成連絡協議会振興事業	67
		祝吉地区スポーツ振興事業	25
	30	スマイルカフェ祝吉賑わいづくり事業	68
		祝吉ホテルの里活性化事業	77
		祝吉地区スポーツ振興事業	26
		祝吉地区安全安心なまちづくり事業	3
		祝吉地区歴史探訪マップ活用事業	90
	31・R1	祝吉地区歴史探訪マップ活用事業	91
		スマイルカフェ祝吉賑わいづくり事業	69
		祝吉地区まちづくり協議会活動充実事業	44
	R2	祝吉地区まちづくり協議会活動充実事業	119
		スマイルカフェ祝吉事業	70
		祝吉地区安全安心なまちづくり事業	4

地区別年度別事業一覧

地区	実施年度	事業名	ページ
五十市	30	自治公民館魅力向上事業	120
	31・R1	今町俵おどり伝承事業	105
	R2	新まちづくり計画策定事業	121
		子どもの見守り活動充実事業	5
		五十市の健康づくり支援事業	27
		イルミ&アートフェスタ開催事業	45
	五十市地区文化祭等充実事業	46	
横市	30	要介護化を予防する事業	28
		横市地区まつりを活性化する事業	47
	31・R1	地域安全パトロール隊の充実を図る事業	6
		地域の歴史を伝承する事業	92
	R2	横市地区まちづくり協議会活動充実事業	122
		自治公民館活動充実事業	123
沖水	30	地域文化活性化事業	48
		地域スポーツイベント支援事業	49
	31・R1	イベント環境整備事業	50
	R2	防災対策環境整備事業	7
		健康づくり環境整備事業	29
志和池	30	志和池地区交通安全活動推進事業	8
		健康増進スポーツ推進事業	30
		まつりパワーアップ支援事業	51
	31・R1	安心安全なまちづくり推進事業	9
		盆踊りやぐら整備事業	52
		屋外放送機器整備事業	53
	R2	蓮池(はすいけ)周辺整備事業	78
		「志和池の宝」ポスター作成事業	93
まちづくり環境整備事業		125	
生きがいつくり事業		124	

地区別年度別事業一覧

地区	実施年度	事業名	ページ
庄内	30	有害鳥獣対策事業	10
		ガイドマップ作成事業	79
		ロゴマーク作成事業	126
		郷土誌「庄内」書籍電子化事業	94
		読み聞かせ本整備事業	71
	31・R1	ハッピー作製事業	128
		有害鳥獣対策事業	10
		見守り隊ベスト作成事業	11
		環境整備事業	127
	R2	有害鳥獣対策事業	10
防災対策環境整備事業		12	
西岳	30	西岳地区ふれあい文化祭事業	54
		西岳地区いきいき健康づくり事業	31
	31・R1	西岳米を活かしたまちづくり事業	129
	R2	多世代交流事業	72
		イベント環境整備事業	56
		道路環境整備事業	13
		イベント周知事業	55
中郷	30	六ヶ村城跡周辺整備事業	96
		中郷地区の歴史DVD作成事業	95
		「安久節」モニュメント設置事業	106
	31・R1	梅の植栽整備事業	97
		総合案内板整備事業	98
	R2	記念碑設置事業	99
		郷土愛育成事業	130
		健康増進事業	32
		交通安全啓発支援事業	14
		防犯対策事業	15
	健康管理支援事業	33	

地区別年度別事業一覧

地区	実施年度	事業名	ページ
山 之 口	30	山之口弥五郎どん祭り保存伝承事業	107
		麓文弥節人形浄瑠璃PR事業	109
		未来へつなぐ山之口の情報発信事業	131
		ダンボールアートチャレンジ事業	73
		夜の昆虫採集カブトムシ相撲大会事業	76
		郷土芸能デジタル化事業	108
	31・R1	花木あげ馬保存伝承事業	111
		健康増進事業	34
		イベント支援事業	57
		平和講演会事業	74
		民俗文化財デジタル化事業	110
		史跡ネットワーク化事業	100
	R2	下富吉郷土芸能保存伝承事業	115
		あじさい公園等城展示パネル製作事業	80
		民俗工芸品開発事業	112
郷土芸能・史跡デジタル化事業		114	
民俗文化財PRビデオ制作事業		113	
高 城	29	有水地区防災道徳教育事業	16
		高城地区見守り隊支援事業	17
		こけない体づくり講座推進支援事業	35
		高城地区まち協ホームページ開設事業	132
	30	観音瀬PR事業	81
		有水地区防災道徳教育事業	16
		都城さくらマラソンおもてなし事業	58
		ニュースポーツ推進事業	36
	31・R1	自主防災隊資機材整備事業	18
		ふれあい交流事業・地域支援事業	75
	R2	高城地区見守り隊支援事業	17
		高城地区まちづくり委員会地域活性化活動推進事業	82
		まちづくり協議会活動充実事業	133

地区別年度別事業一覧

地区	実施年度	事業名	ページ	
山田	30	山田地区体育祭開催事業	59	
		山田地区広報誌発行事業	134	
		山田地区健康増進事業	37	
		「石川理紀之助」交流事業	101	
	31・R1	自然遺産掲示板設置事業	83	
		「石川理紀之助」交流事業	101	
		山田地区広報誌発行事業	134	
	R2	山田地区広報誌発行事業	134	
		ふるさと探訪マップ発行事業	102	
		婚活レクレーション事業	60	
		町興し活動充実事業	135	
		まちづくり協議会活動充実事業	136	
	高崎	29	高崎地区縁結び促進事業	61
		30	高崎地区縁結び促進事業	61
		31・R1	高崎民俗芸能保存活性化事業	116
イベント環境整備事業			64	
高崎地区縁結び促進事業			61	
タイムカプセル開封記念事業			62	
芸術文化環境整備事業			63	
健康スポーツ推進事業			38	
自治公民館連携強化事業			138	
ホームページ開設事業			137	
R2		ほたるの里拡大事業	84	
		PR看板及び街灯フラッグ作製事業	66	
		健康スポーツ推進事業	39	
		自治公民館連携強化事業	38	
		高崎地区イベント看板等整備事業	65	
		自治公民館連携地域対策事業	139	
		「たかざきマップ」リニューアル事業	103	
		たかざき施設案内パネル設置事業	104	



幸せ上々、みやこのじょう

日本一の肉と焼酎、とっておきの自然と伝統

発行年月 令和4年11月  
発行編集 都城市地域振興部地域振興課  
〒885-8555 宮崎県都城市姫城町6街区21号  
TEL 0986-23-7146  
FAX 0986-21-3034  
<http://www.city.miyakonojo.miyazaki.jp>